

県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事 (電気設備)

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E- 0 / 3 1	表紙、図面リスト	――	E-2 1 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 / 3 1	電気設備工事特記仕様書（1）	――	2 2 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）、既設分電盤結線図（撤去）	1 : 1 0 0
2 / 3 1	電気設備工事特記仕様書（2）	――	2 3 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 1階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
3 / 3 1	配置図、附近見取図	1 : 1 0 0 0	2 4 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
4 / 3 1	受変電設備改造結線図	――	2 5 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
5 / 3 1	既設分電盤改造結線図	――	2 6 / 3 1	コンセント設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
6 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 1階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	2 7 / 3 1	コンセント設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
7 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 2階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	2 8 / 3 1	弱電設備 管理教室棟 1、2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
8 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	2 9 / 3 1	弱電設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
9 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 1階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	3 0 / 3 1	火災報知設備 管理教室棟 1、2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 0 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 2階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	3 1 / 3 1	火災報知設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 1 / 3 1	電灯設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	1 : 1 0 0			
1 2 / 3 1	コンセント設備 管理教室棟 1階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	M- 1 / 7	機械設備工事特記仕様書（1）	――
1 3 / 3 1	コンセント設備 管理教室棟 2階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	2 / 7	機械設備工事特記仕様書（2）	――
1 4 / 3 1	コンセント設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	3 / 7	冷暖房・換気・衛生設備 管理教室棟 機器表・器具表（撤去・既存）	――
1 5 / 3 1	弱電・火災報知設備 管理教室棟 1階平面図（改修後）、新設端子盤参考姿図	1:200、1:30	4 / 7	冷暖房設備 管理教室棟 1階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 6 / 3 1	弱電設備 管理教室棟 1、2階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	5 / 7	冷暖房設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 7 / 3 1	弱電設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	6 / 7	冷暖房・換気・衛生設備 管理教室棟 3階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 8 / 3 1	火災報知設備 管理教室棟 1、2階平面図（改修後）	1 : 1 0 0	7 / 7	冷暖房・換気設備 管理教室棟 4階平面図（撤去）	1 : 1 0 0
1 9 / 3 1	火災報知設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	1 : 1 0 0			
2 0 / 3 1	幹線設備 管理教室棟 1階平面図（撤去）	1 : 1 0 0			



15

工事用仮設物

16

土工事

17

電線類

18

電線本数・管路等

19

屋外露出配管の仕上げ

20

露出配管の塗装（付属品含む）

21

波付硬質合成樹脂管（FEP）

22

フラッシュプレート材質

23

カバープレートの表示

24

ブルボックスの塗装

25

耐震施工

26

接地極

27

屋上、屋側の支持金物等

28

結露防止

29

アスベスト含有建材の処理

15

工事用仮設物

16

土工事

17

電線類

18

電線本数・管路等

19

屋外露出配管の仕上げ

20

露出配管の塗装（付属品含む）

21

波付硬質合成樹脂管（FEP）

22

フラッシュプレート材質

23

カバープレートの表示

24

ブルボックスの塗装

25

耐震施工

26

接地極

27

屋上、屋側の支持金物等

28

結露防止

29

アスベスト含有建材の処理

30

補修など

31

はつり

32

はつり工事における非破壊検査

33

あと施工アンカー

34

室内空気中の化学物質の濃度測定

35

火災保険等

36

鳥取県公共事業環境配慮指針

37

建築物省エネ法

38

照明器具

39

一般照明の照度測定

40

非常用照明の照度測定

41

照明制御の照度測定等

42

機器への接続

43

大地抵抗率の測定

44

外部雷保護設備接地システム

45

変圧器移動車輪

46

デマンド監視装置

47

盤内照明

48

交流無停電電源装置（UPS）

49

自家発電装置

50

ディーゼル発電装置

51

ガスエンジン発電装置

52

ガスタービン発電装置

53

熱併給発電装置

54

燃料電池発電装置

55

太陽光発電装置

56

風力発電装置

57

交換装置

58

保安器用接地

59

壁付電話機との接続

60

回線数

61

電話機

62

電話機への配線

63

マルチサイン装置

64

出退表示装置

65

時刻表示装置

66

プロジェクト

67

映像音響設備

10

声備

11

誘導

12

火災報知設備

13

構内配電経路

14

構内通信経路

15

テレビ電波受信障害調査

16

その他

10

増幅器

11

音声誘導装置

12

自動火災報知設備

13

自動閉鎖設備

14

ガス漏れ火災警報設備

15

施工方法

16

地中箱

17

高圧負荷開閉器

18

高圧ケーブルの端末部

19

高圧ケーブルの屋外端未処理

20

標識シート

21

照明用ポール

22

施工方法

23

地中箱

24

標識シート

25

調査仕様

26

テレビ電波受信障害調査時期

27

受信する受信波及び地点数

28

報告書提出部数

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

増幅器

11

音声誘導装置

12

自動火災報知設備

13

自動閉鎖設備

14

ガス漏れ火災警報設備

15

施工方法

16

地中箱

17

高圧負荷開閉器

18

高圧ケーブルの端末部

19

高圧ケーブルの屋外端未処理

20

標識シート

21

照明用ポール

22

施工方法

23

地中箱

24

標識シート

25

調査仕様

26

テレビ電波受信障害調査時期

27

受信する受信波及び地点数

28

報告書提出部数

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

11

電力共通

12

電

13

灯

14

動力

15

構内交換

16

電気時計

17

拡声

10

機器取付高

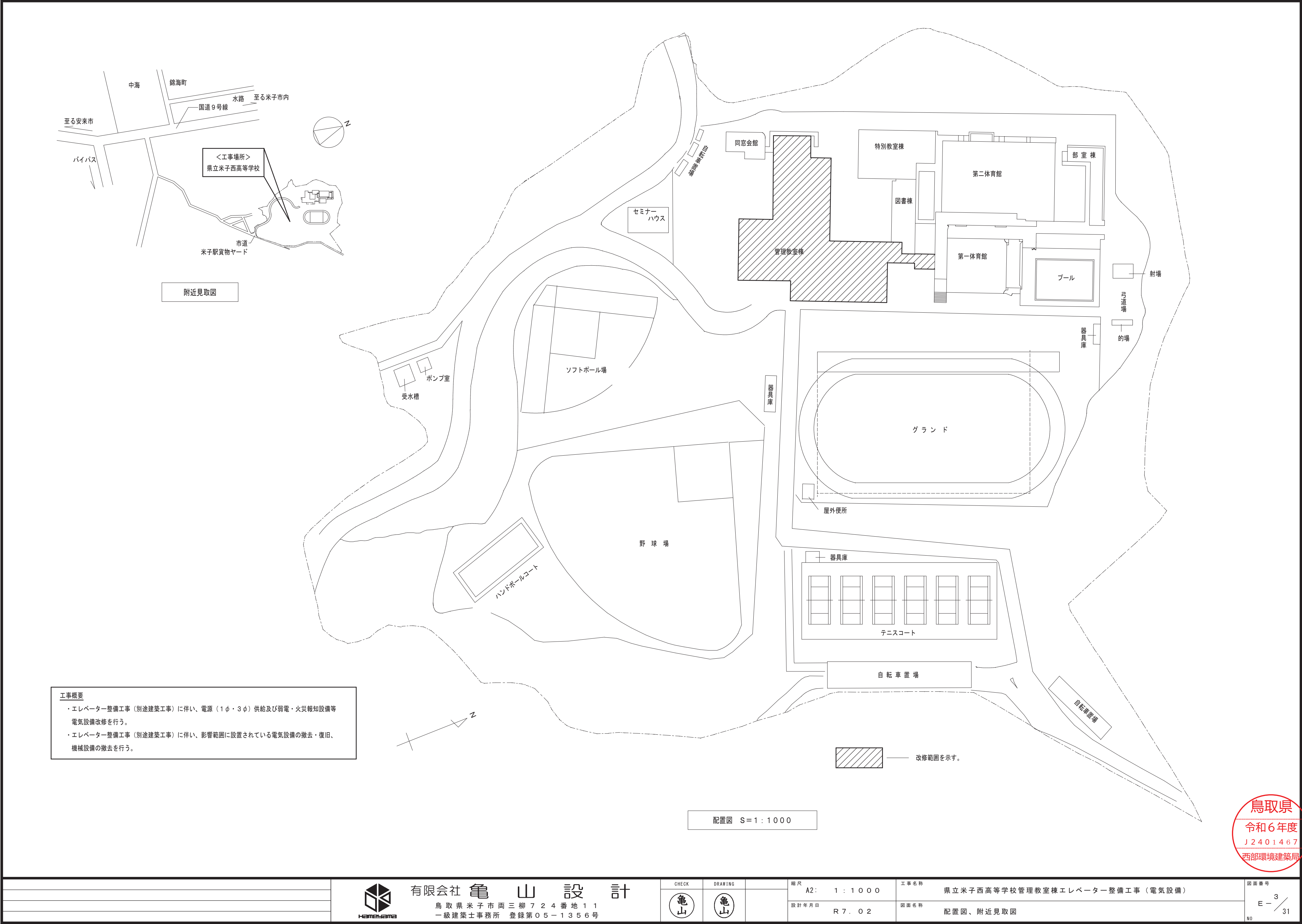
11

電力共通

12

電

</



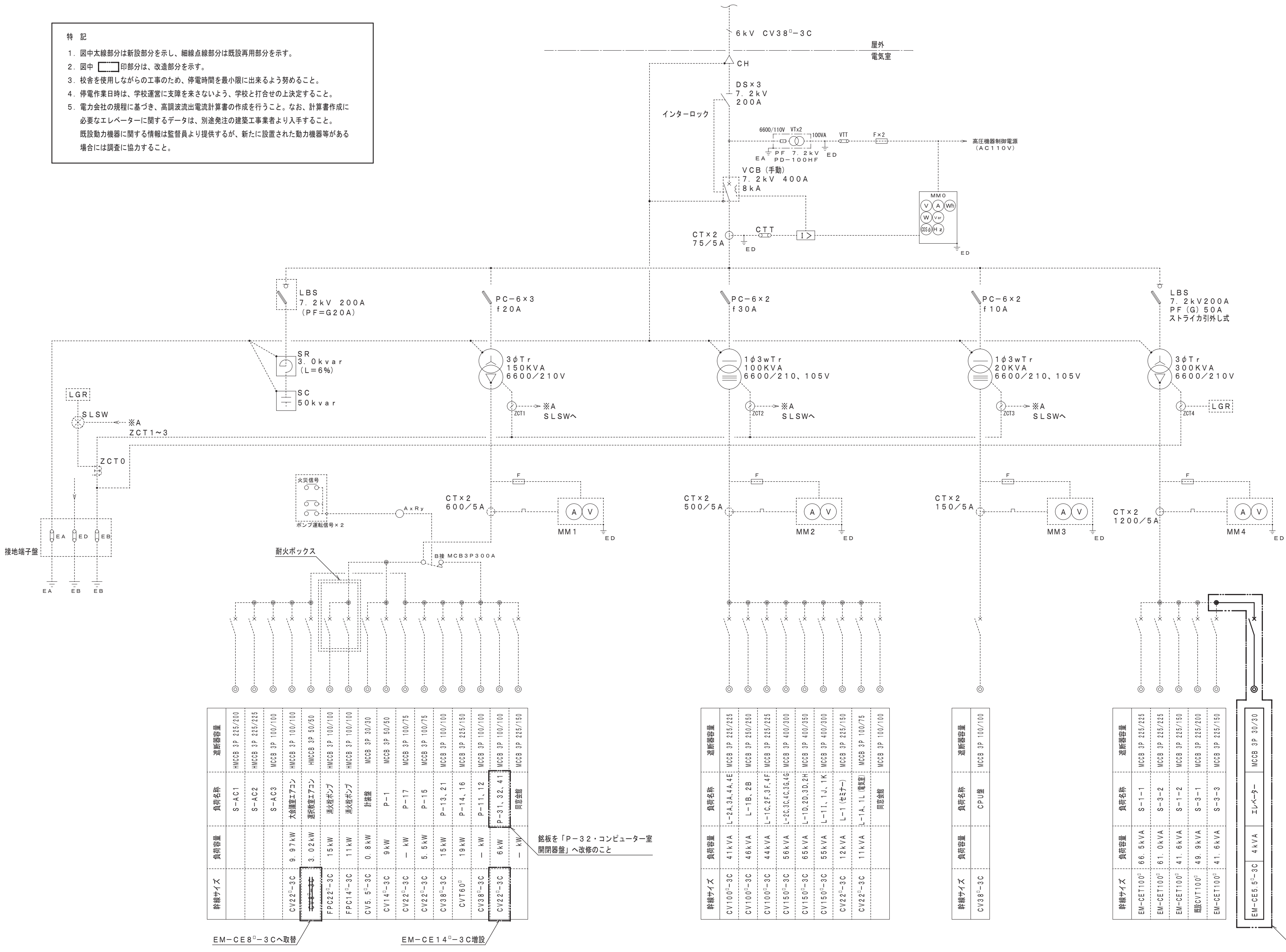
工事概要

- ・エレベーター整備工事（別途建築工事）に伴い、電源（1φ・3φ）供給及び弱電・火災報知設備等電気設備改修を行う。
- ・エレベーター整備工事（別途建築工事）に伴い、影響範囲に設置されている電気設備の撤去・復旧、機械設備の撤去を行う。

配置図 S=1:1000

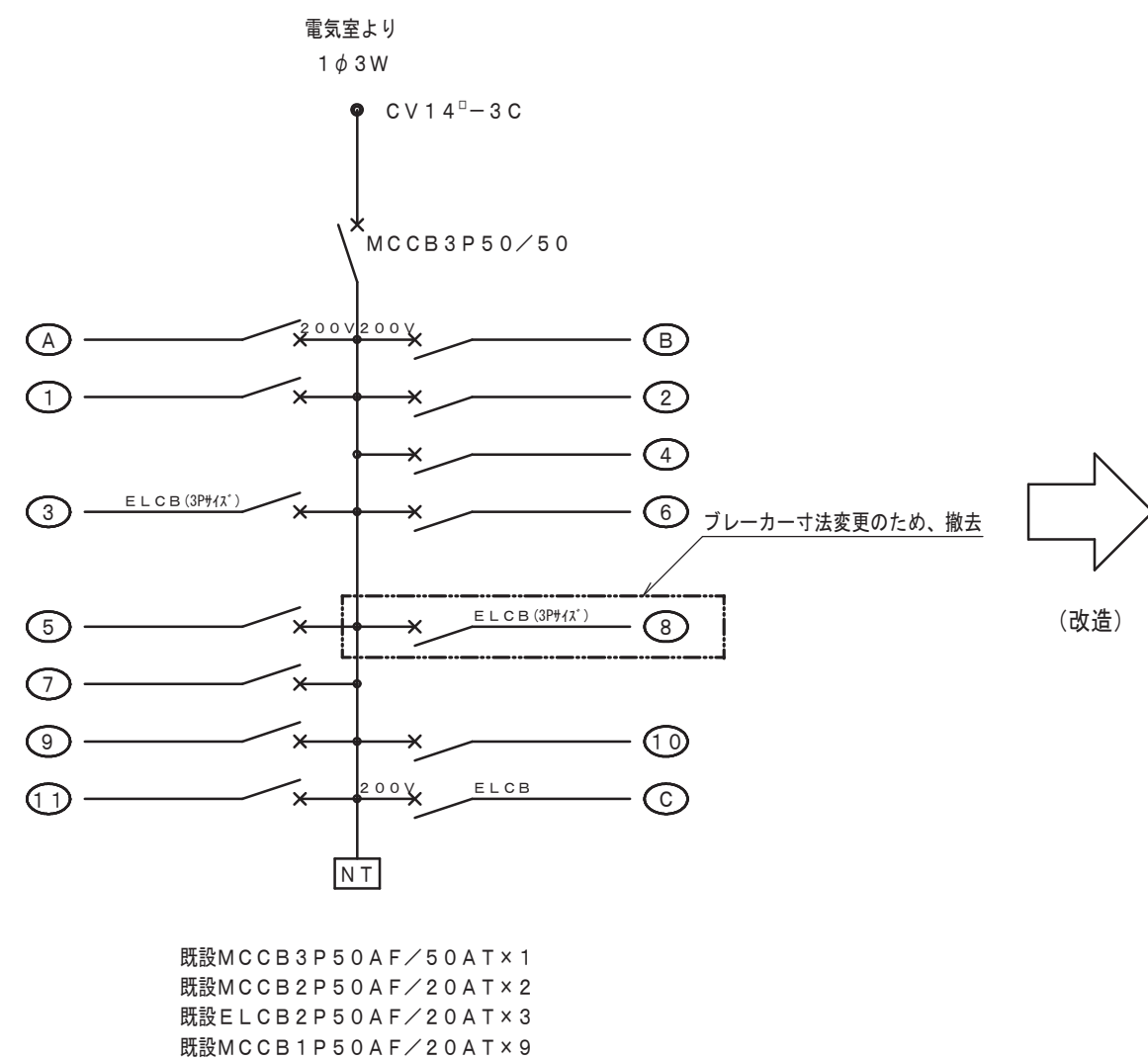
		 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:1000 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備）	図面番号 E-3/31 NO
						図面名称 配置図、附近見取図	

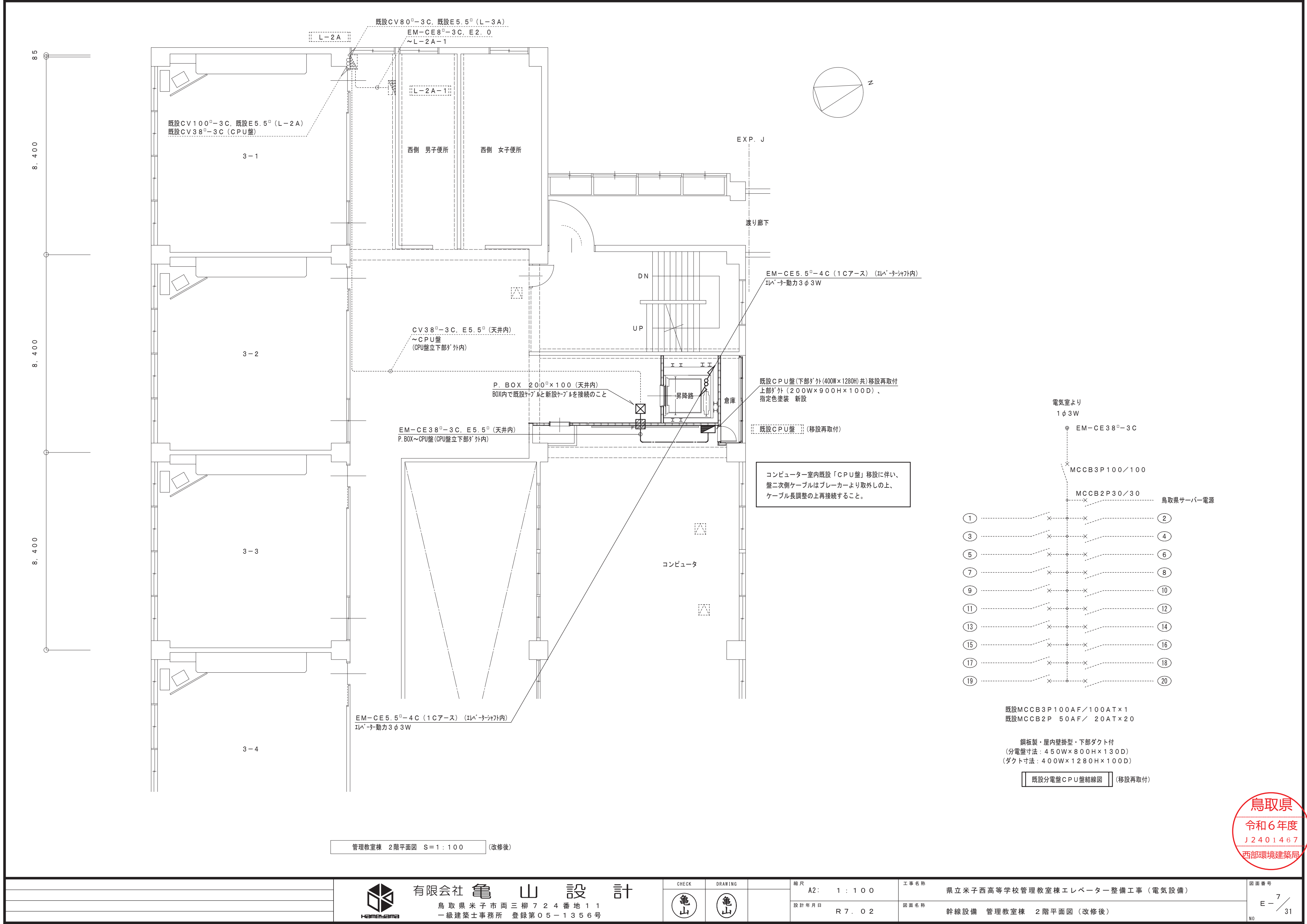
- 特 記
1. 図中太線部分は新設部分を示し、細線点線部分は既設再用部分を示す。
 2. 図中 印部分は、改造部分を示す。
 3. 校舎を使用しながらの工事のため、停電時間を最小限に出来るよう努めること。
 4. 停電作業日時は、学校運営に支障を来さないよう、学校と打合せの上決定すること。
 5. 電力会社の規程に基づき、高調波流出電流計算書の作成を行うこと。なお、計算書作成に必要なエレベーターに関するデータは、別途発注の建築工事業者より入手すること。
- 既設動力機器に関する情報は監督員より提供するが、新たに設置された動力機器等がある場合には調査に協力すること。



受変電設備改造結線図

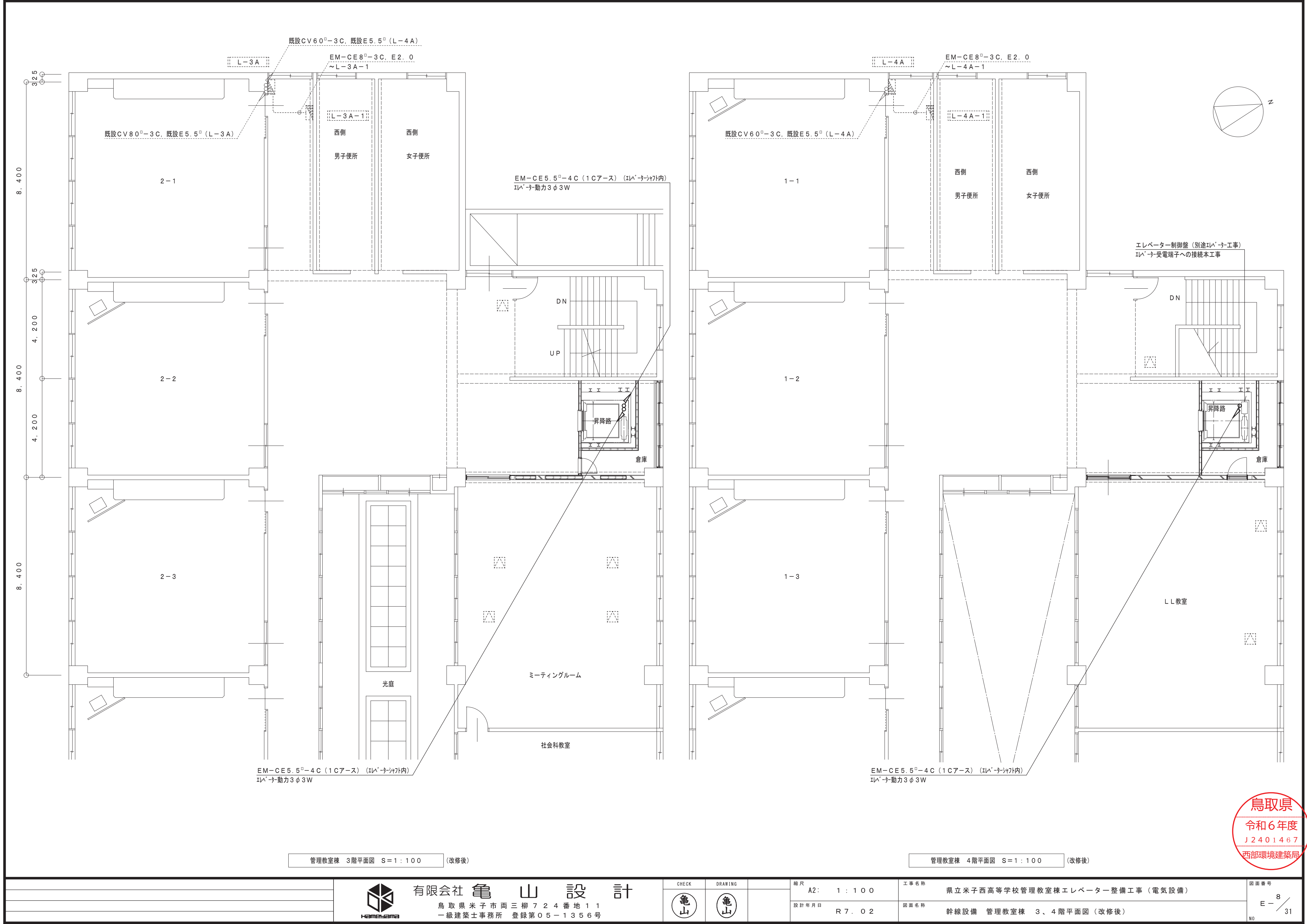






鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

		有限会社 亀山設計	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:100	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備）	図面番号 E-7/31 NO
		鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号			設計年月日 R7.02	図面名称 幹線設備 管理教室棟 2階平面図（改修後）	

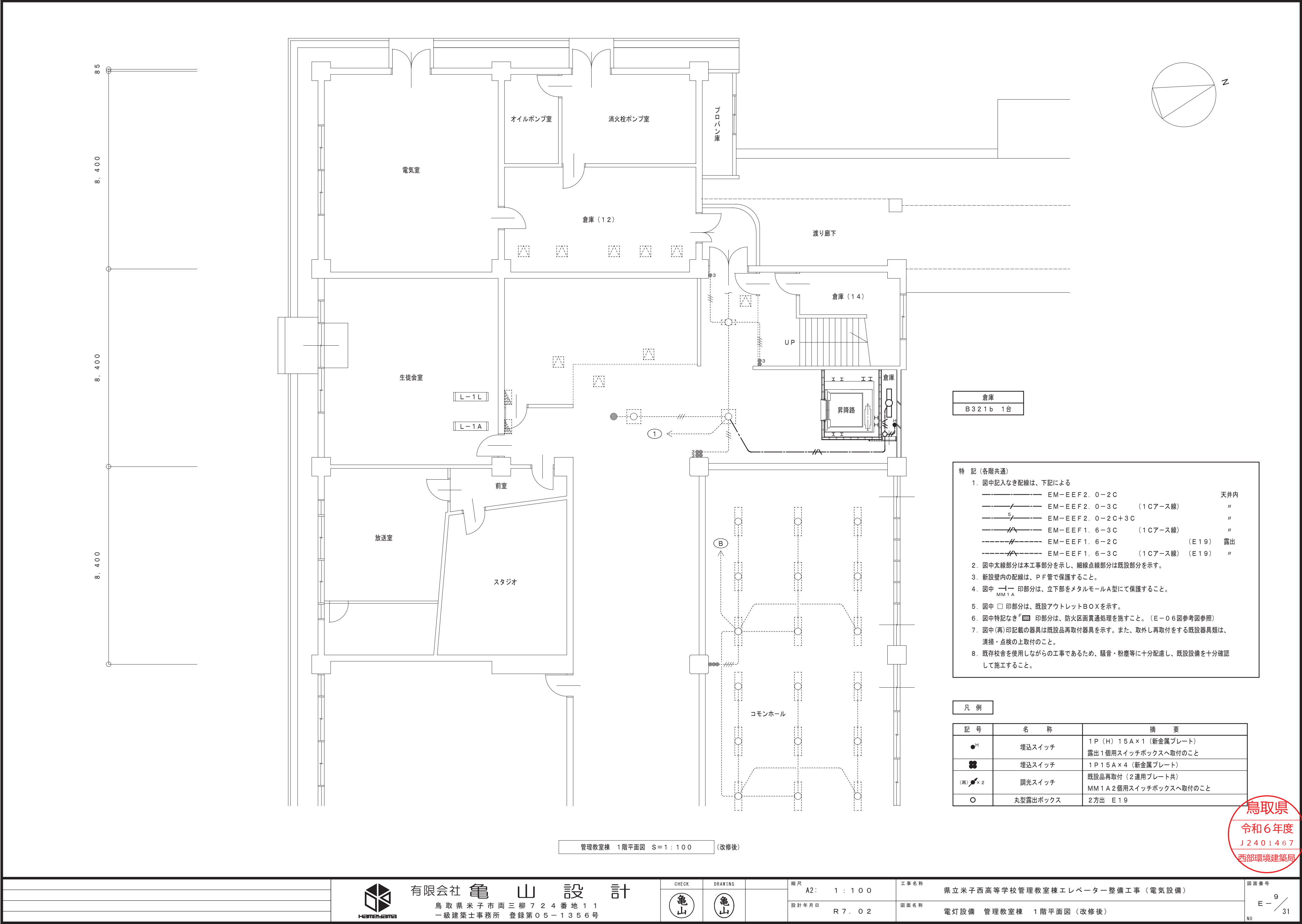


管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (改修後)

管理教室棟 4階平面図 S=1:100 (改修後)

鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

		 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1 : 100 設計年月日 R 7 . 0 2	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備）	図面番号 E - 8 / 31 NO
							
			管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (改修後)		図面名称 幹線設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）		



倉庫
B321b 1台

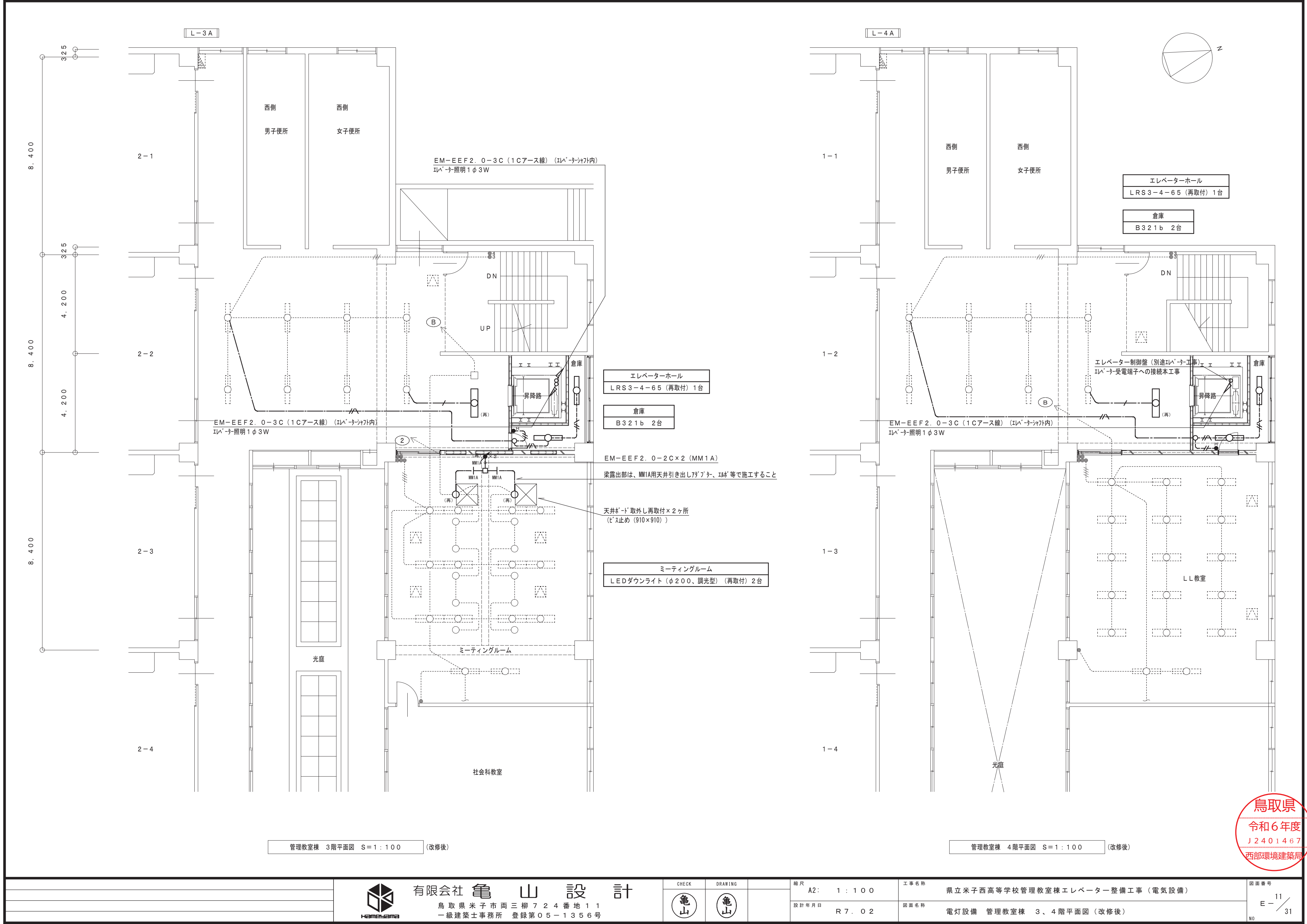
- 特 記 (各階共通)
- 図中記入なき配線は、下記による
 - 図中大線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
 - 新設壁内の配線は、P F 管で保護すること。
 - 図中 印部分は、立下部をメタルモールA型にて保護すること。
 - 図中 印部分は、既設アウトレットBOXを示す。
 - 図中特記なき 印部分は、防火区画貫通処理を施すこと。(E-06図参考図参照)
 - 図中(再)印記載の器具は既設品再取付器具を示す。また、取外し再取付をする既設器具類は、清掃・点検の上取付のこと。
 - 既存校舎を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して施工すること。

凡 例

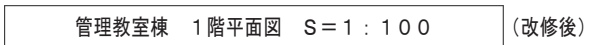
記 号	名 称	摘 要
	埋込スイッチ	1P (H) 15 A × 1 (新金属プレート) 露出1個用スイッチボックスへ取付のこと
	埋込スイッチ	1 P 15 A × 4 (新金属プレート)
(再)	調光スイッチ	既設品再取付 (2 連用プレート共) MM1 A 2 個用スイッチボックスへ取付のこと
	丸型露出ボックス	2 方出 E 19

管理教室棟 1階平面図 S=1:100 (改修後)

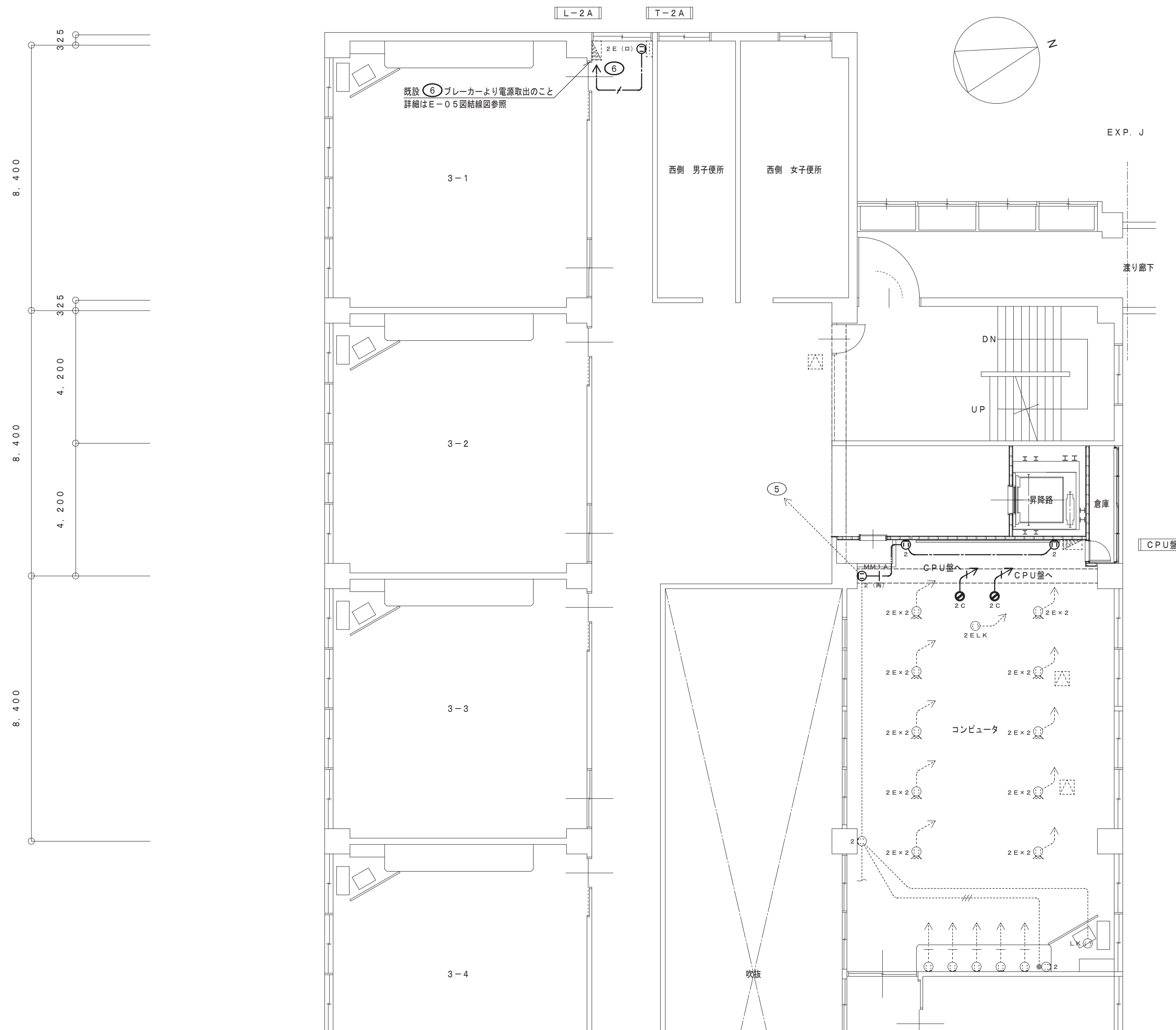
鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局



鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局



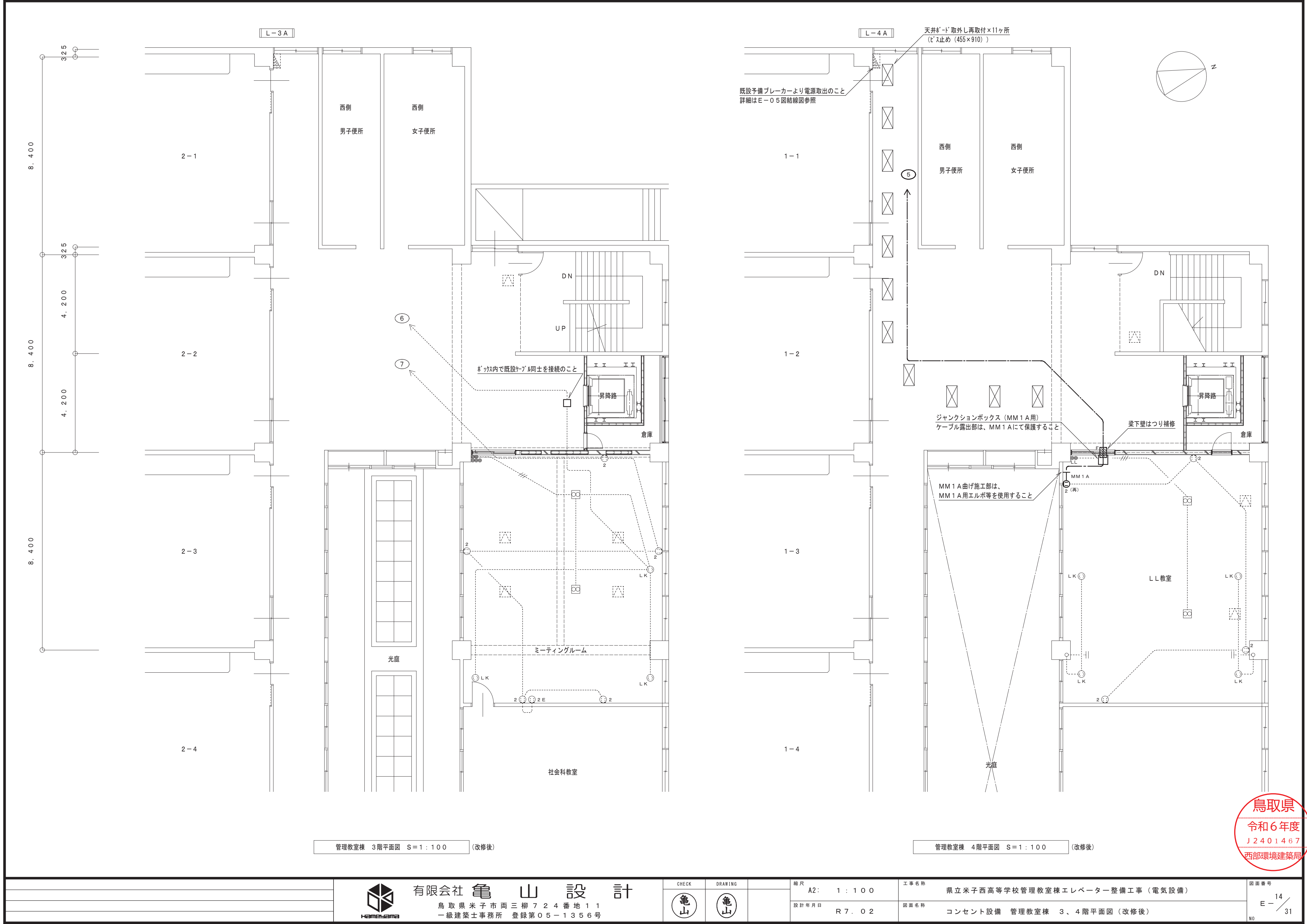
記 号	名 称	摘 要
㊦ ₂	埋込コンセント	2P15A×2 新金属プレート
㊦ _{2EET}	〃	2P15A(E)×2、ET
㊦ _{2(再)}	〃	2P15A×2 新金属プレート (既設品再取付) MM1A1個用スイッチボックスへ取付のこと
㊦ _{2E(口)}	露出コンセント	2P15A(E)×2
□	アウトレットボックス	VE、中深、カバー付
㊦ _{2C}	ハーネスジョイントボックス	ハーネス2分岐・送り付 20A125V 保護カバー取付台共 ハーネス用OAタップ 2P15A(抜止)E×4コロ～2個共



管理教室棟 2階平面図 S=1:100 (改修後)

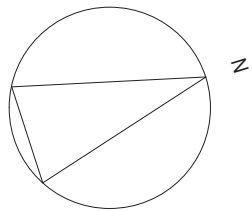
鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

		有限会社 亀山設計		CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 コンセント設備 管理教室棟 2階平面図（改修後）	図面番号 E-13/31 NO
鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号								



鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK 亀山	DRAWING 亀山	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 コンセント設備 管理教室棟 3、4階平面図（改修後）	図面番号 E-14/31 NO
---	-------------	---------------	-----------------------------------	--	-----------------------



EM-HP0. 9-5P	ELVインターホ	既設
EM-HP1. 2-5P	火報	弱電用
EM-TIEF0. 65-2C	ELV遠隔監視	(PF16)

(ビット内)

EM-HP0. 9-5P	ELVインターホ	(E39)
EM-HP1. 2-5P	火報	
EM-TIEF0. 65-2C	ELV遠隔監視	(E19)

(ビット内)

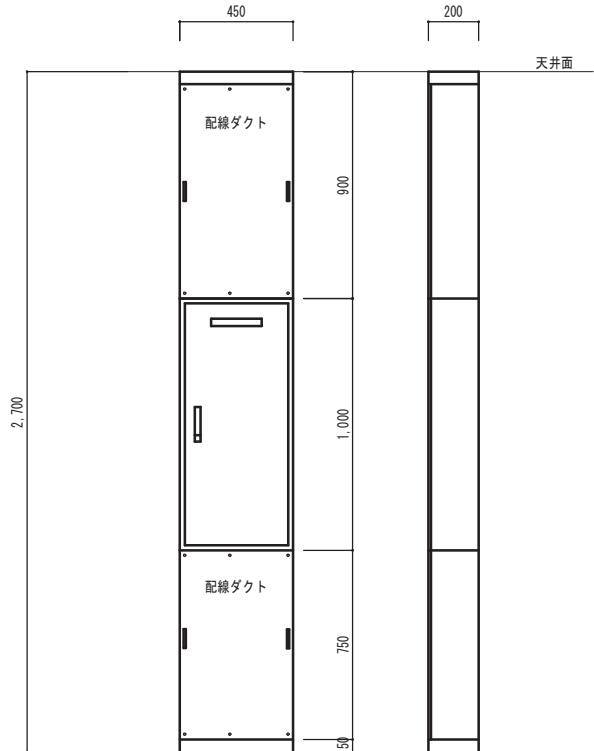
EM-HP0. 9-5P (天井内)	ELVインターホ
EM-HP1. 2-5P (天井内)	火報

EM-HP0. 9-5P	ELVインターホ	(E39)
EM-HP1. 2-5P	火報	
EM-TIEF0. 65-2C	ELV遠隔監視	(E19)

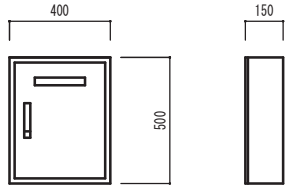
(ビット内)

新設端子盤内訳表

記号	名称	非常放送	火報	防排煙	ELVインターホ	コンセント	備考
T-1K-1			10P		10P		
T-1K-2			10P		10P		
T-2A		10P	20P	10P	10P	E付2ヶ所	機器取付スペース
T-3A		10P	10P	10P	10P		機器取付スペース
T-4A		10P	10P	10P			機器取付スペース



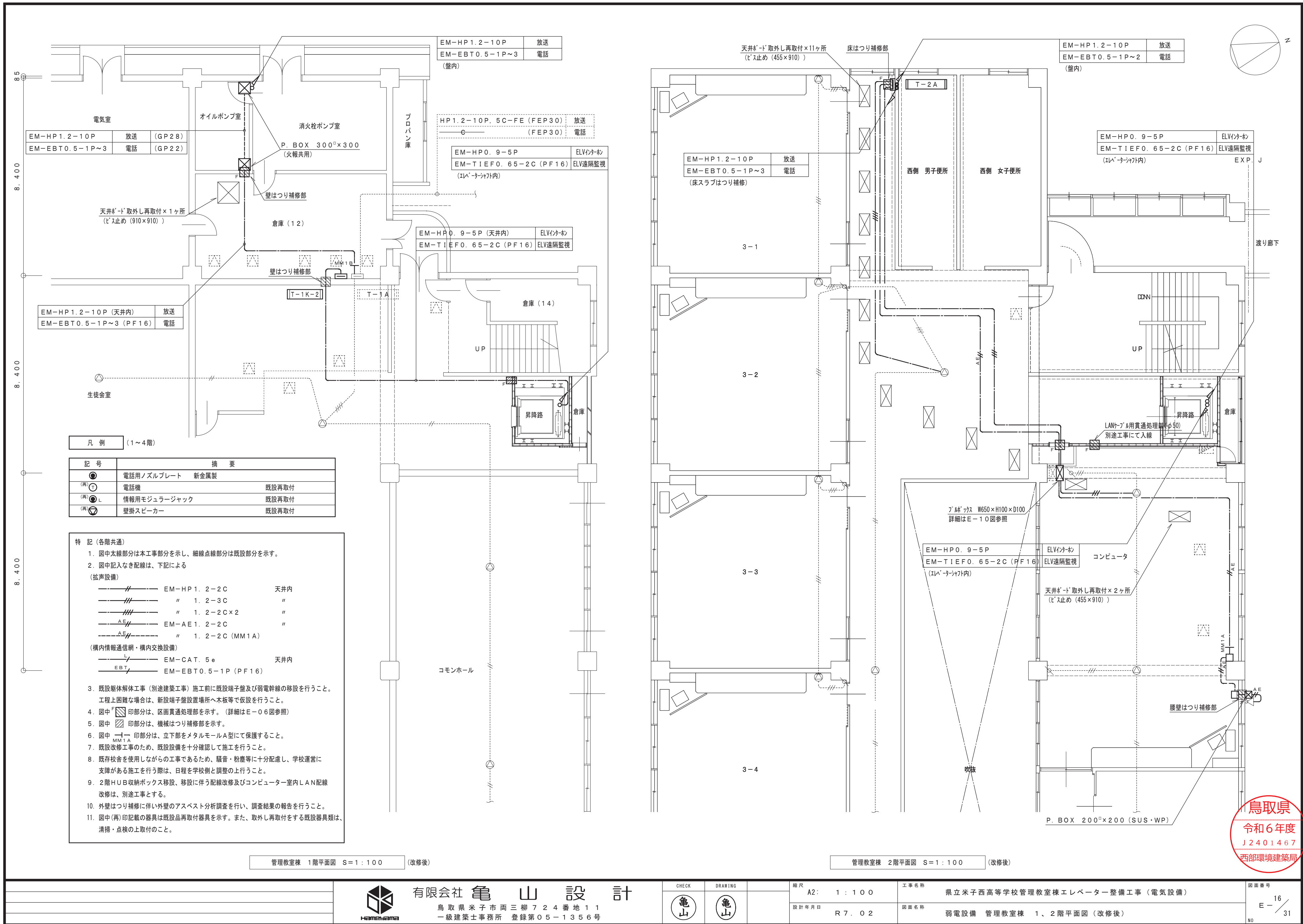
銅板製、屋内露出型、上下ダクト付、指定色塗装
新設端子盤T-2A、3A、4A参考姿図 S=1:30

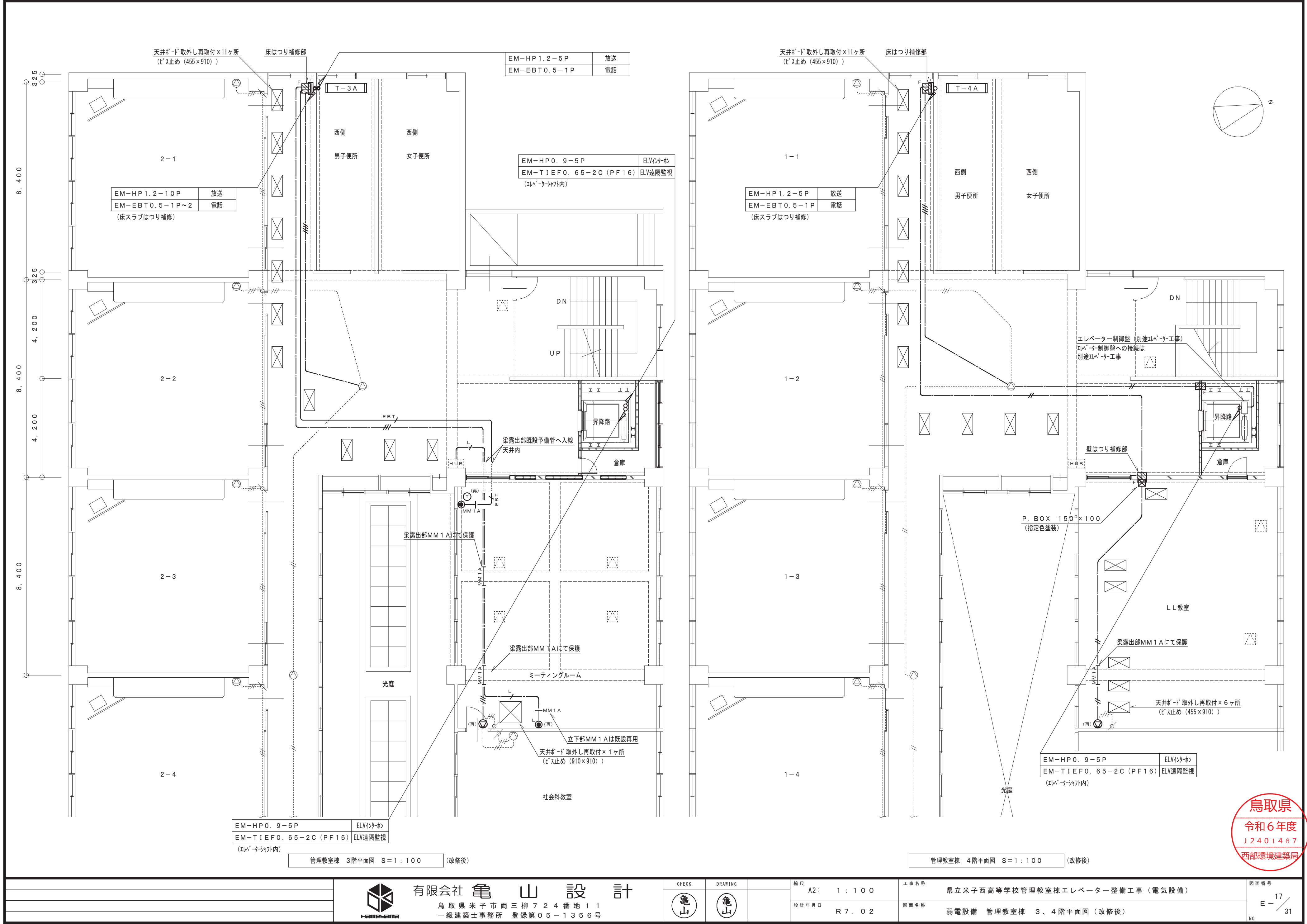


銅板製、屋内露出型、標準色
新設端子盤T-1K-1、2参考姿図 S=1:30

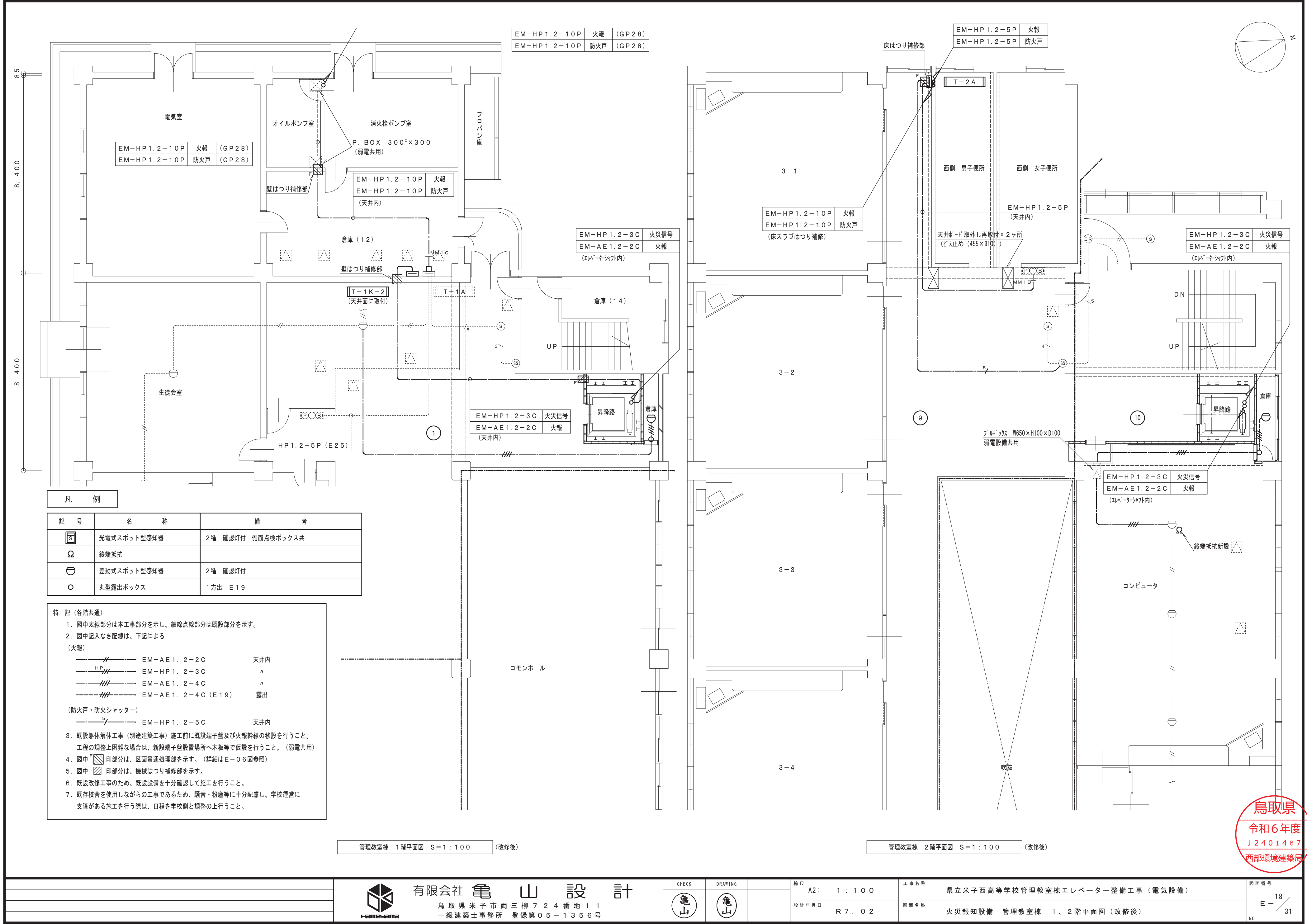
- 特記
- 図中太線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
 - 図中 印部分は、機械はつり補修部を示す。
 - 図中 印部分は、区画貫通処理部を示す。(詳細はE-06図参考図参照)
 - 既設改修工事のため、既設を十分確認の上、施工を行うこと。
 - 図中 印部分は、床下ビット部分を示す。
 - 図中 印は、エレベーター用インターホン(別途エレベーター工事支給品)を示し、配線のみ本工事とし、取付は別途エレベーター工事とする。

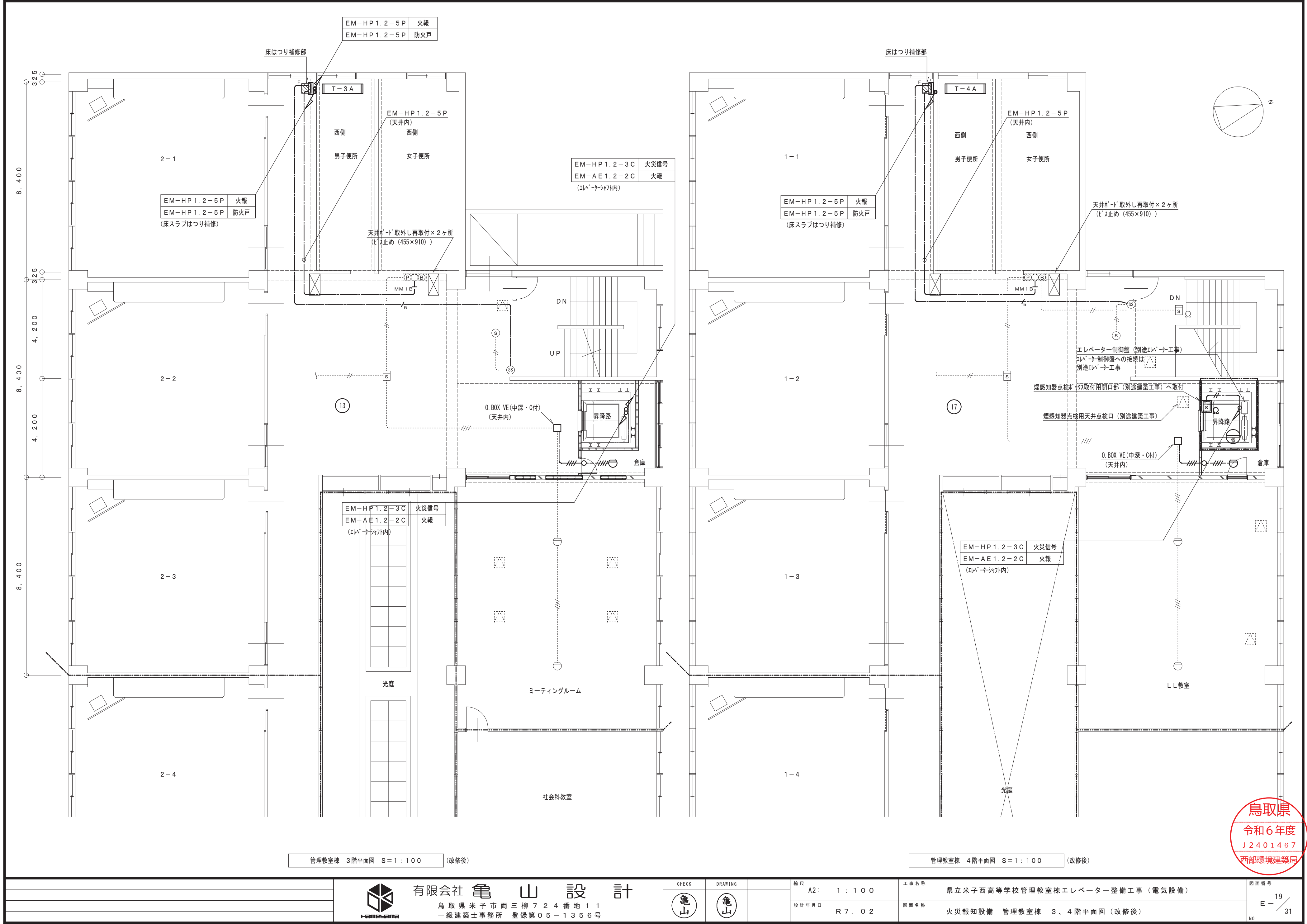
管理教室棟 1階平面図 S=1:200 (改修後)





鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

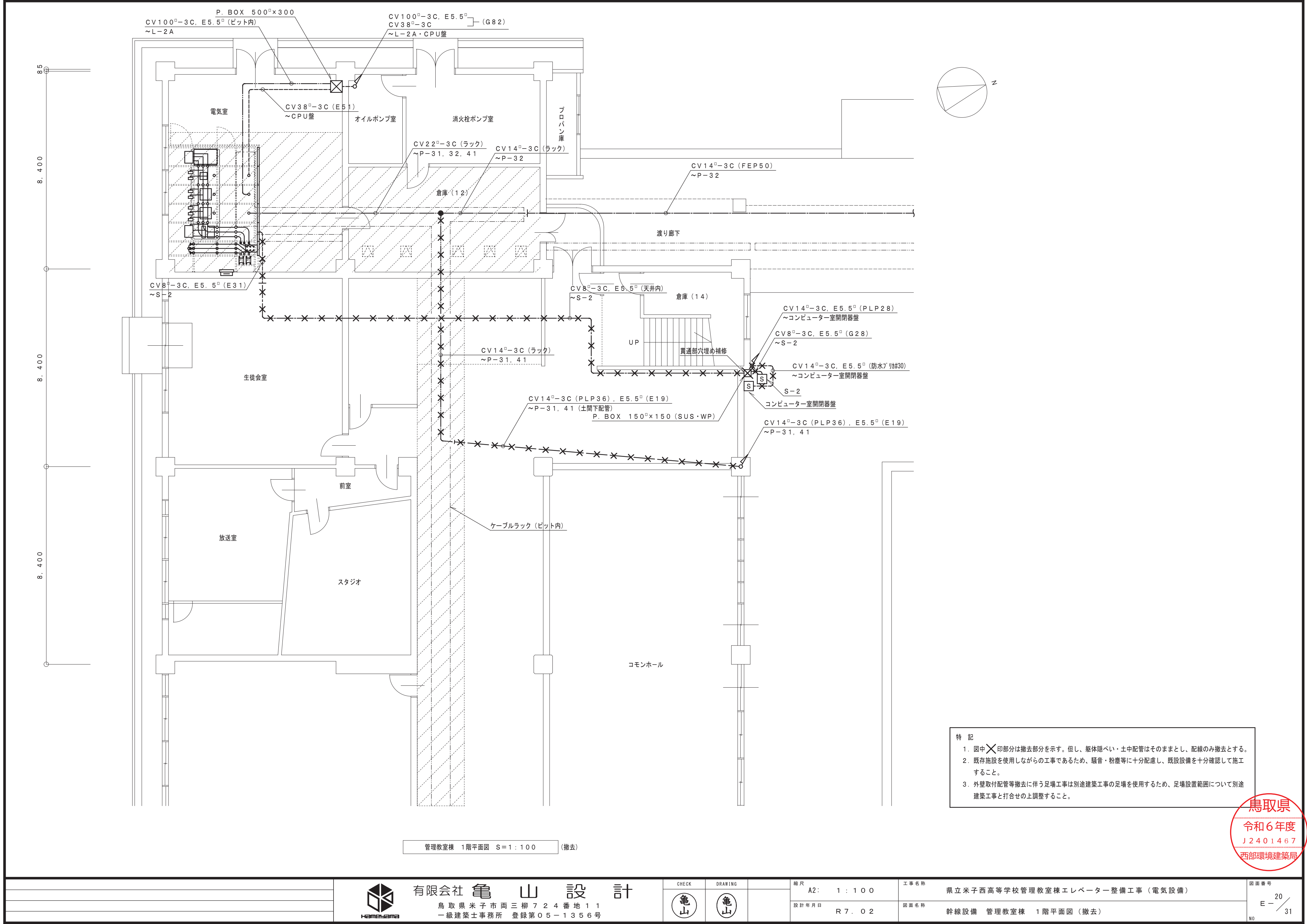


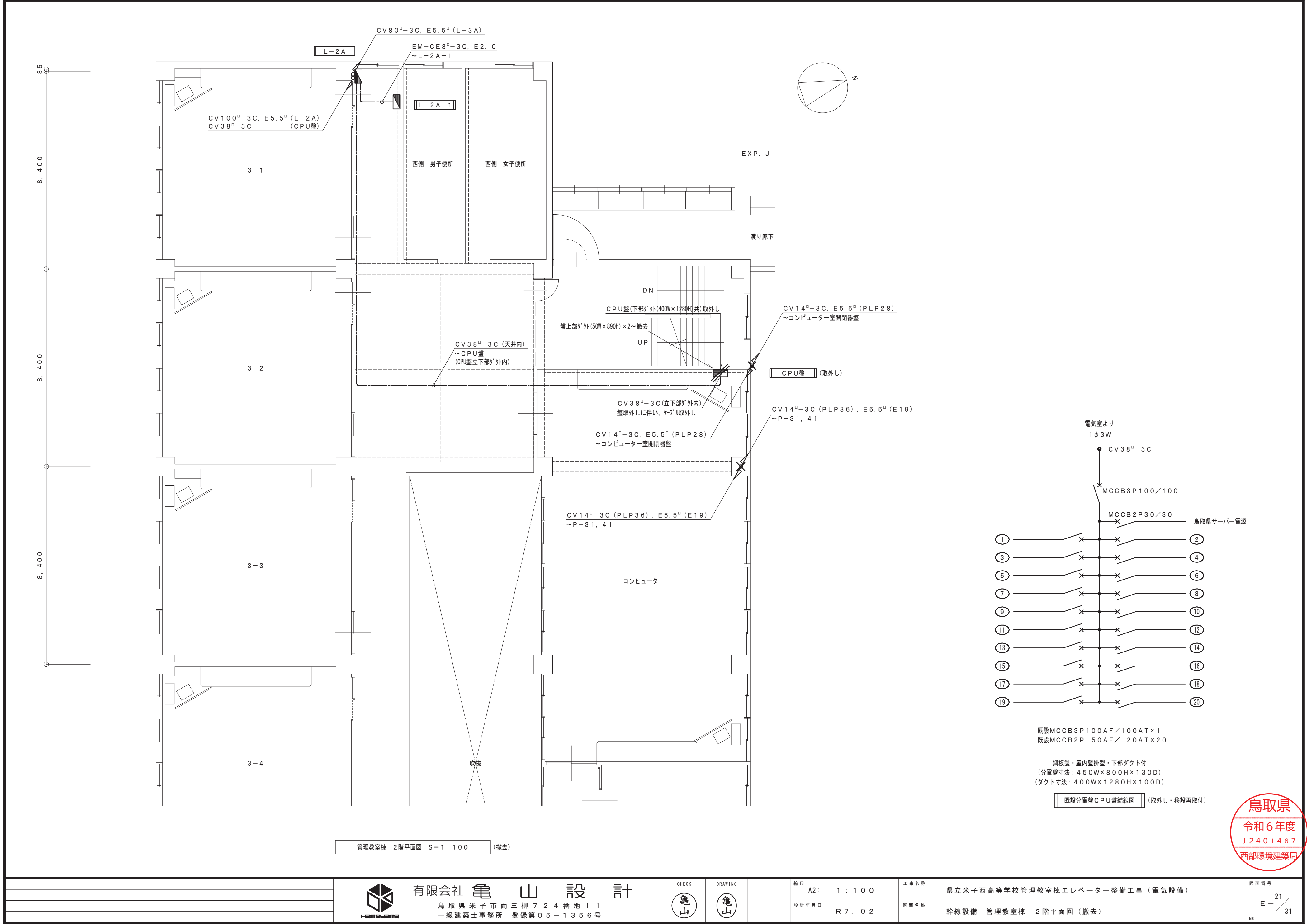


管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (改修後)

管理教室棟 4階平面図 S=1:100 (改修後)

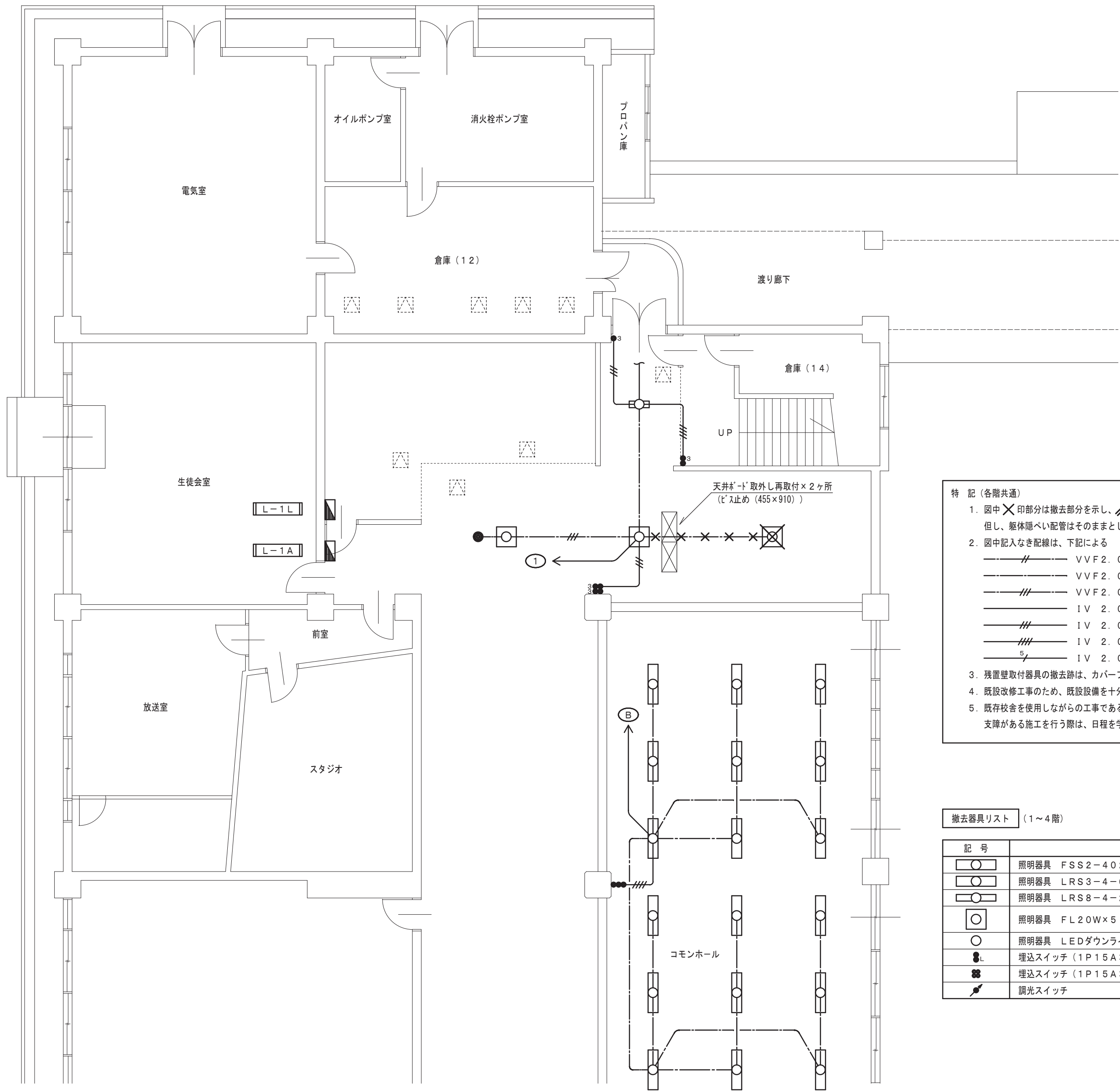
鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局





		有限会社 亀山設計	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:100	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事 (電気設備)	図面番号 E-21/31 NO
		鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号			設計年月日 R7.02	図面名称 幹線設備 管理教室棟 2階平面図 (撤去)	

85
8,400
8,400
8,400
8,400



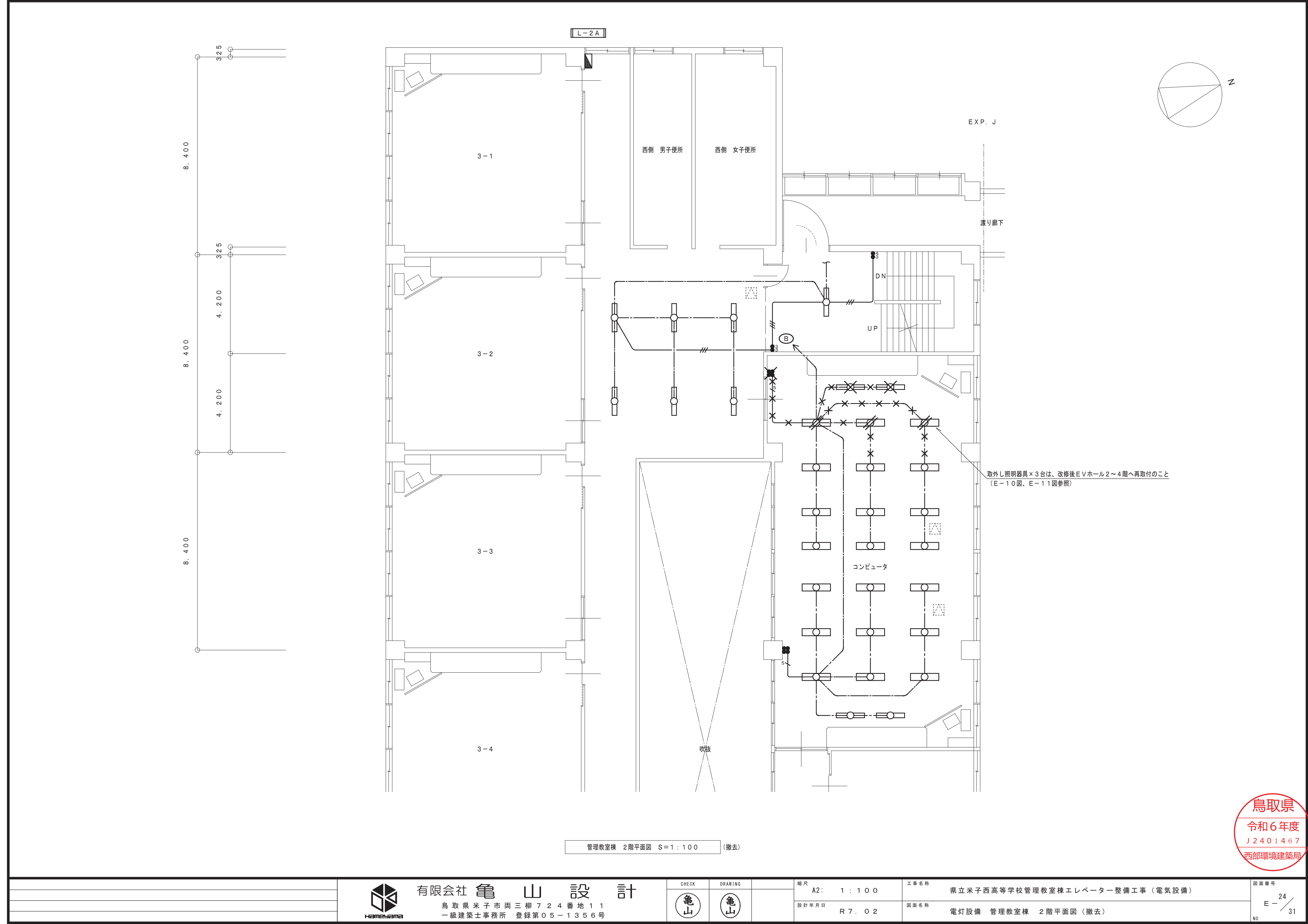
- 特 記 (各階共通)
1. 図中 **×** 印部分は撤去部分を示し、**///** 印部分は取外し (再使用有り) 部分を示す。
但し、躯体隠ぺい配管はそのままとし、配線のみ撤去とする。
 2. 図中記入なき配線は、下記による

記号	規格	場所
///	VVF2. 0-2C	天井内
///	VVF2. 0-2C, E2. 0	"
///	VVF2. 0-3C, E2. 0	"
---	1V 2. 0x2 (E19)	隠ぺい
---	1V 2. 0x3 (E19)	"
---	1V 2. 0x4 (E25)	"
---	1V 2. 0x5 (E25)	"
 3. 残置壁取付器具の撤去跡は、カバープレートにて補修をすること。
 4. 既設改修工事のため、既設設備を十分確認して施工を行うこと。
 5. 既存校舎を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、学校運営に支障がある施工を行う際は、日程を学校側と調整の上行うこと。

撤去器具リスト (1~4階)			
記 号	摘 要		個 数
	照明器具 FSS2-402	撤去 (再使用無し)	6
	照明器具 LRS3-4-65	取外し (再使用有り)	3
	照明器具 LRS8-4-20	撤去 (再使用無し)	2
	照明器具 FL20Wx5 (埋込型)	撤去 (再使用無し)	1
	照明器具 LEDダウンライト (φ200、調光型)	取外し (再使用有り)	2
	埋込スイッチ (1P15A×1+1P4A (L)×1)	撤去 (再使用無し)	2
	埋込スイッチ (1P15A×4)	撤去 (再使用無し)	1
	調光スイッチ	取外し (再使用有り)	2

管理教室棟 1階平面図 S=1:100 (撤去)

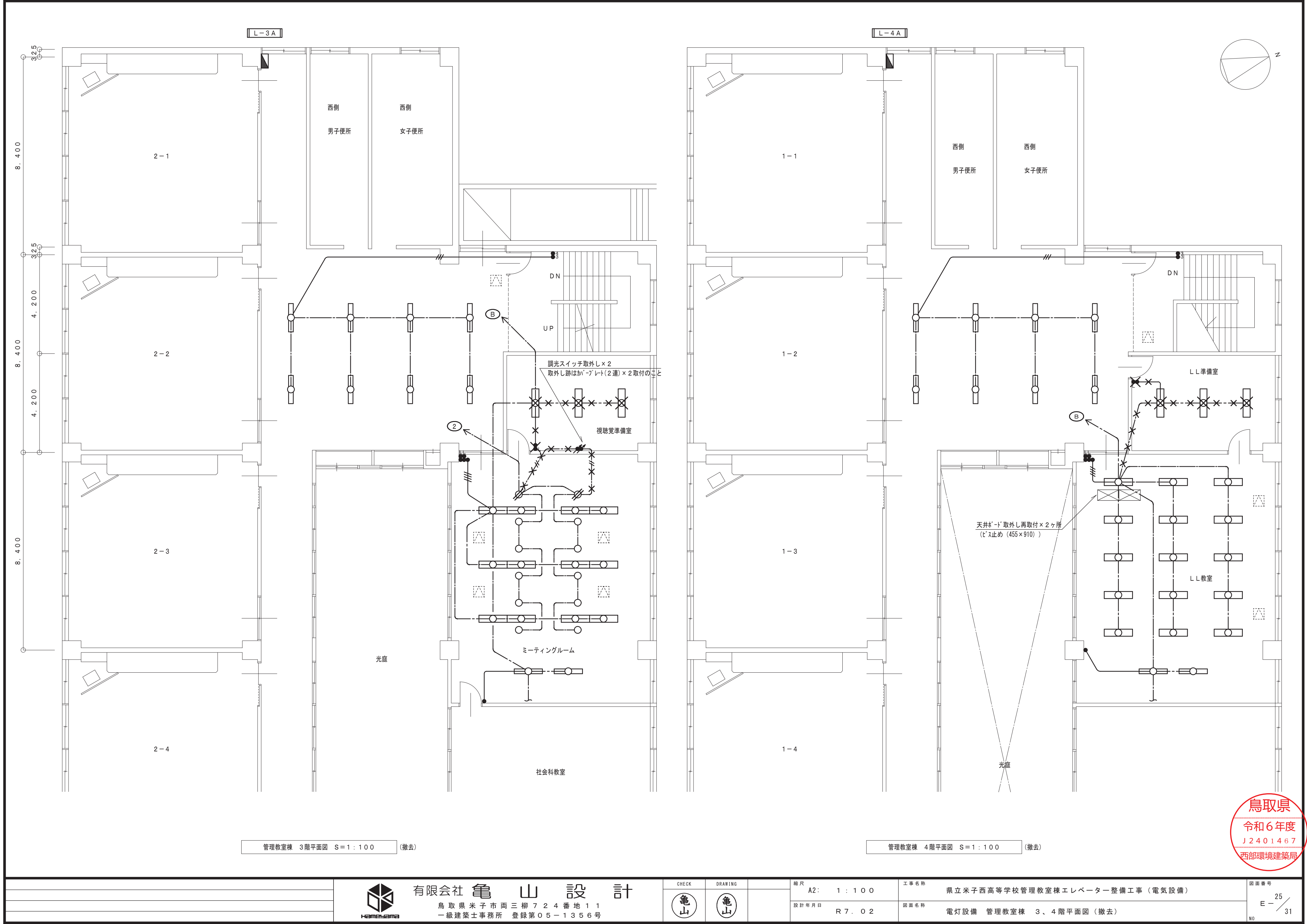
鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局



管理教室棟 2階平面図 S=1:100 (撤去)

鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

Hamayama		有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 電灯設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	図面番号 E-24/31 NO

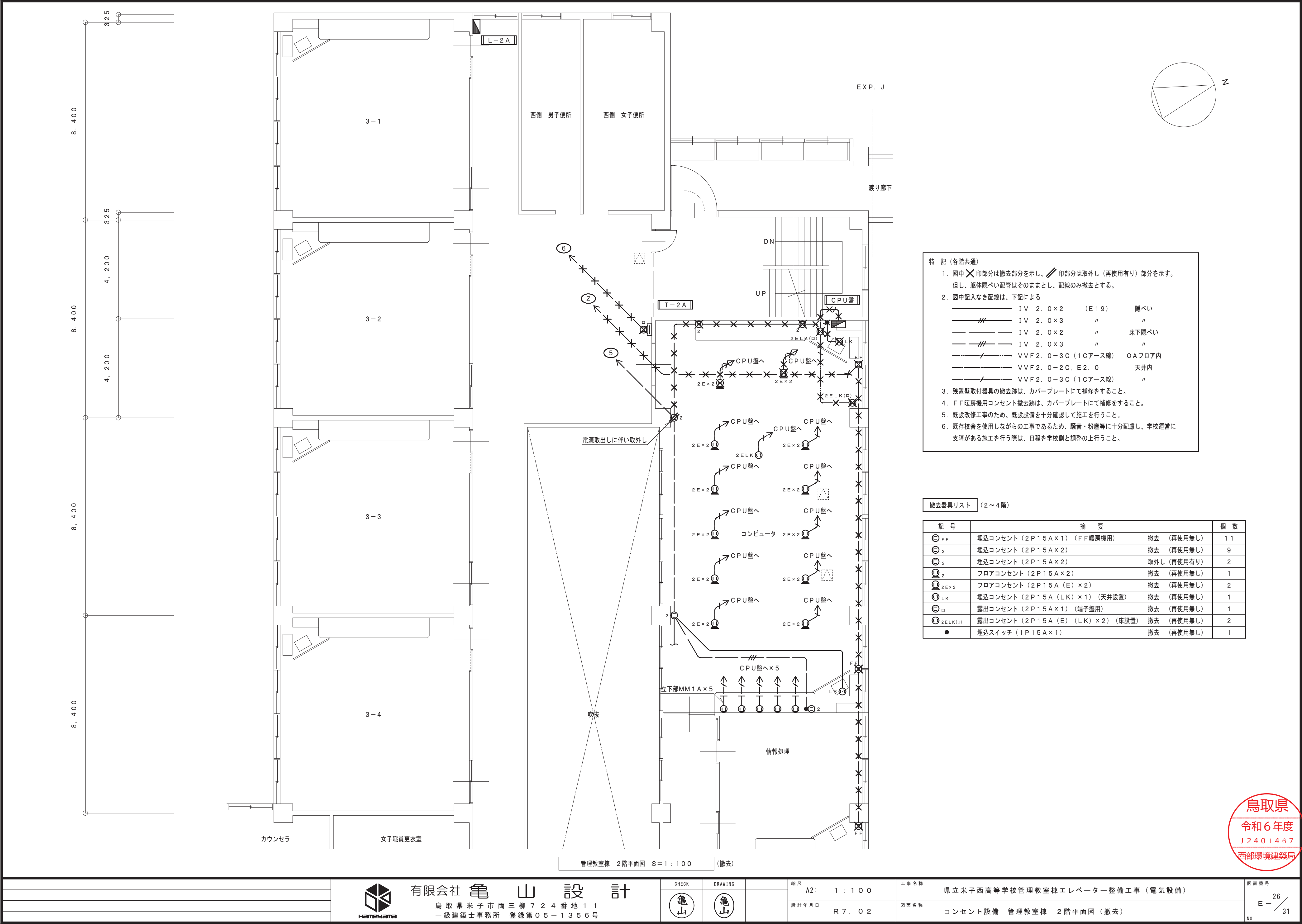


管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (撤去)

管理教室棟 4階平面図 S=1:100 (撤去)

鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

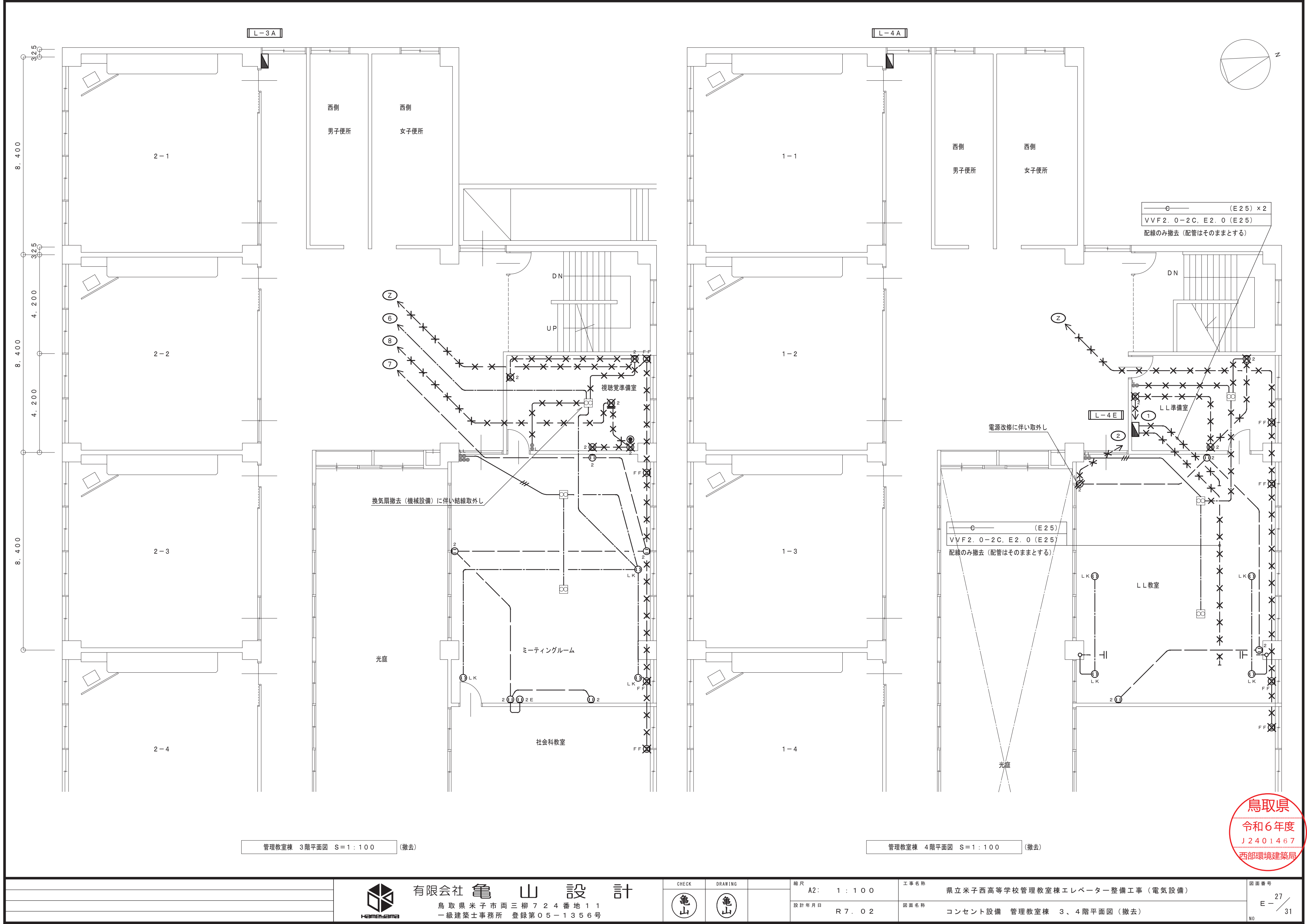
有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK 亀山	DRAWING 亀山	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 電灯設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	図面番号 E-25/31 NO
--	-------------------------	---------------------------	---	--	------------------------------------



- 特 記（各階共通）
1. 図中 $\times$ 印部分は撤去部分を示し、 $\parallel$ 印部分は取外し（再使用有り）部分を示す。
但し、躯体隠ぺい配管はそのままとし、配線のみ撤去とする。
 2. 図中記入なき配線は、下記による
——— 1V 2.0×2 (E19) 隠ぺい
——— $\parallel$ 1V 2.0×3 " "
——— 1V 2.0×2 " 床下隠ぺい
——— $\parallel$ 1V 2.0×3 " "
——— $\diagup$ VVF2.0-3C（1Cアース線） OAフロア内
——— VVF2.0-2C, E2.0 天井内
——— $\diagdown$ VVF2.0-3C（1Cアース線） "
3. 残置壁取付器具の撤去跡は、カバープレートにて補修すること。
4. FF暖房機用コンセント撤去跡は、カバープレートにて補修すること。
5. 既設改修工事のため、既設設備を十分確認して施工を行うこと。
6. 既存校舎を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、学校運営に支障がある施工を行う際は、日程を学校側と調整の上行うこと。

撤去器具リスト（2～4階）			
記 号	摘 要		個 数
FF	埋込コンセント（2P15A×1）（FF暖房機用）	撤去（再使用無し）	11
E_2	埋込コンセント（2P15A×2）	撤去（再使用無し）	9
E_2	埋込コンセント（2P15A×2）	取外し（再使用有り）	2
E_2	フロアコンセント（2P15A×2）	撤去（再使用無し）	1
$\text{E}_2 \times 2$	フロアコンセント（2P15A（E）×2）	撤去（再使用無し）	2
LK	埋込コンセント（2P15A（LK）×1）（天井設置）	撤去（再使用無し）	1
E_D	露出コンセント（2P15A×1）（端子盤用）	撤去（再使用無し）	1
$\text{E}_2 \text{ELK(D)}$	露出コンセント（2P15A（E）（LK）×2）（床設置）	撤去（再使用無し）	2
●	埋込スイッチ（1P15A×1）	撤去（再使用無し）	1

鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局

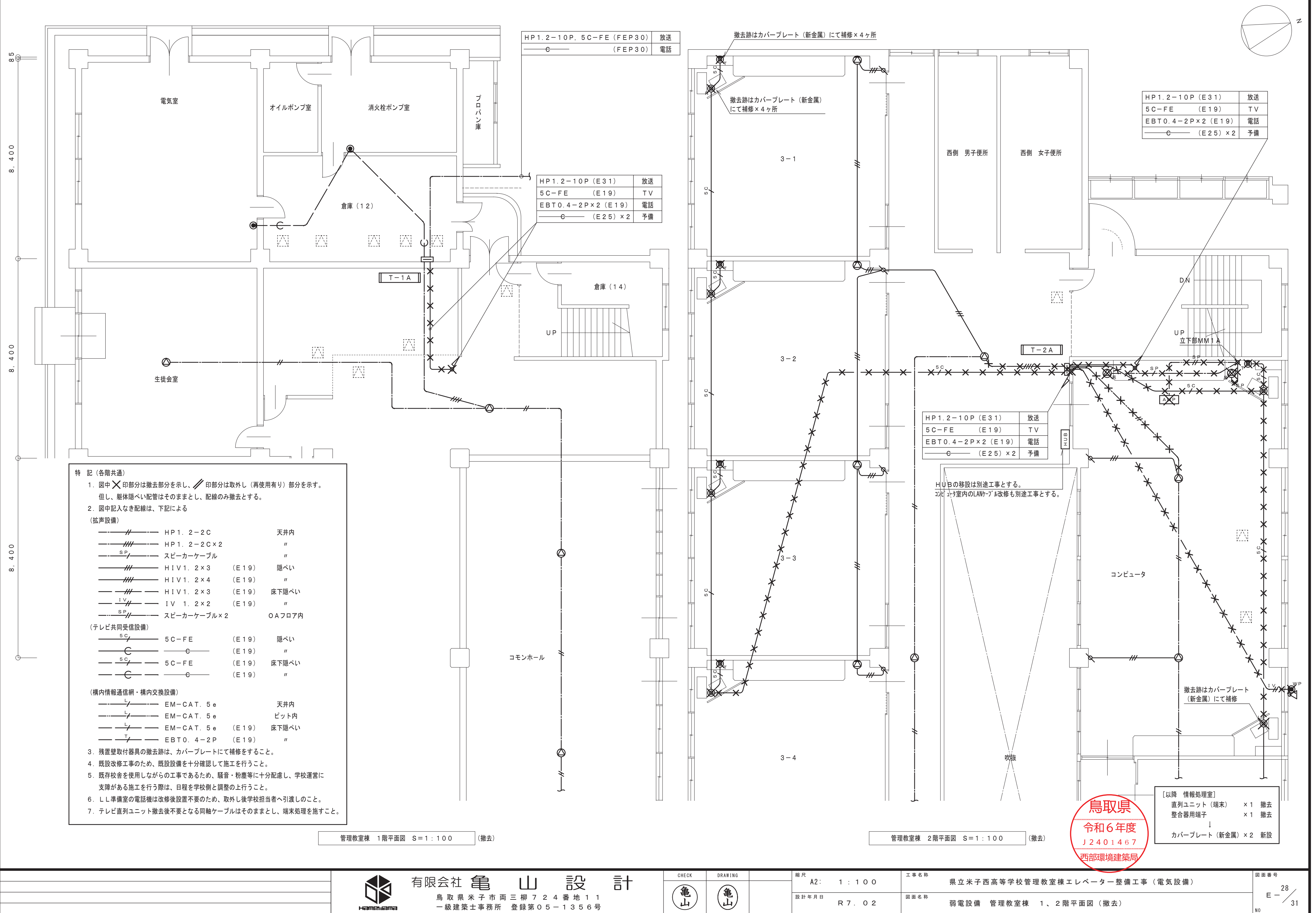


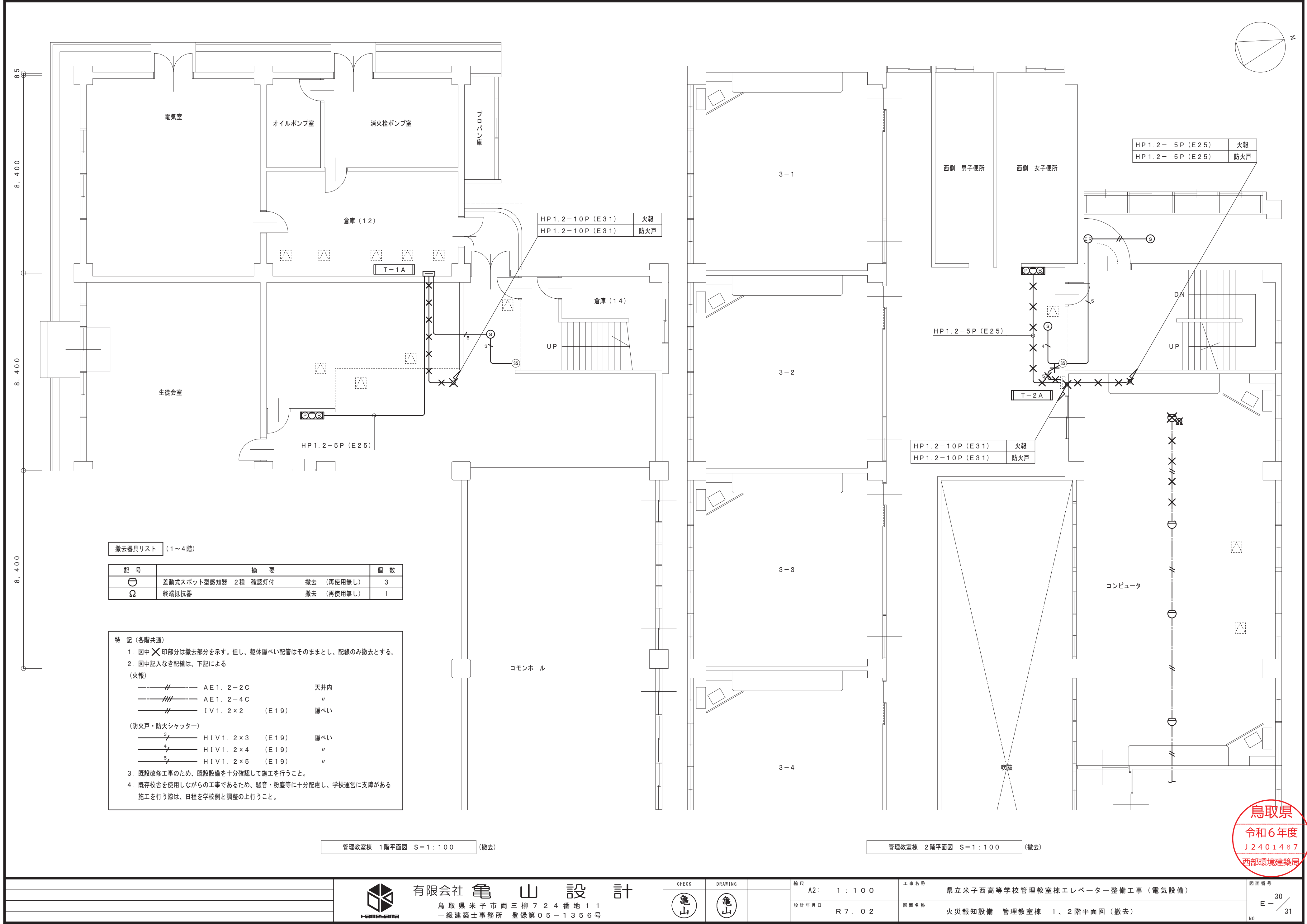
管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (撤去)

管理教室棟 4階平面図 S=1:100 (撤去)

有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK DRAWING	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 コンセント設備 管理教室棟 3、4階平面図（撤去）	図面番号 E-27/31 NO
--	--	-----------------------------------	---	-----------------------

鳥取県
令和6年度
J2401467
西部環境建築局





撤去器具リスト (1～4階)			
記号	摘要		個数
⊖	差動式スポット型感知器 2種 確認灯付	撤去 (再使用無し)	3
Ω	終端抵抗器	撤去 (再使用無し)	1

- 特記 (各階共通)
- 図中 $\times$ 印部分は撤去部分を示す。但し、躯体隠ぺい配管はそのままとし、配線のみ撤去とする。
 - 図中記入なき配線は、下記による (火報)

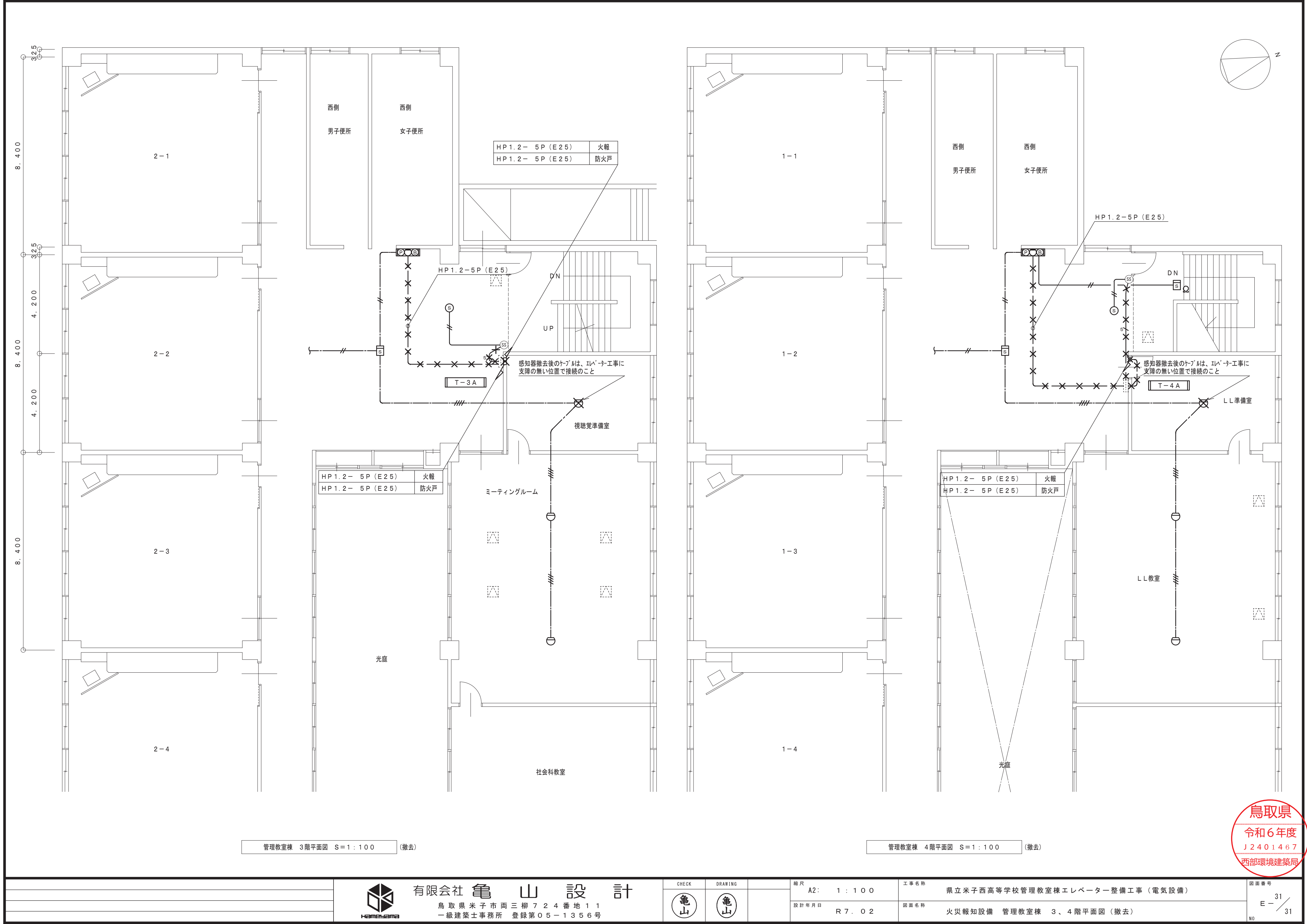
---//---	AE1. 2-2C	天井内
---///---	AE1. 2-4C	"
---//---	IV1. 2x2 (E19)	隠ぺい

(防火戸・防火シャッター)

---3/---	HIV1. 2x3 (E19)	隠ぺい
---4/---	HIV1. 2x4 (E19)	"
---5/---	HIV1. 2x5 (E19)	"
 - 既設改修工事のため、既設設備を十分確認して施工を行うこと。
 - 既存校舎を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、学校運営に支障がある施工を行う際は、日程を学校側と調整の上行うこと。

管理教室棟 1階平面図 S=1:100 (撤去)

管理教室棟 2階平面図 S=1:100 (撤去)



機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 米子市大谷町

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	管理教室棟	RC	4	8,217.93	(7) 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工 事 種 目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備								
◎ 冷 暖 房 設 備	○							撤去のみ
◎ 換 気 設 備	○							撤去のみ
● 排 煙 設 備								
● 自 動 制 御 設 備								
◎ 衛 生 器 具 設 備	○							撤去のみ
◎ 給 水 設 備	○							撤去のみ
◎ 排 水 設 備	○							撤去のみ
● 給 湯 設 備								
● ガ ス 設 備								
● 浄 化 槽 設 備								
● 消 火 設 備								
● さ く 井 設 備								
● 電 気 設 備 工 事								
● 建 築 工 事								
●								

4 設 備 概 要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

● 印の付いたものを適用する。

	項 目	設 備 概 要
空 気 調 和 ・ 冷 暖 房 設 備	● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	◎ 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ◎ パッケージ方式
	◎ 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ◎ 温風暖房 (◎ 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
	◎ 熱 源	◎ 電気 ◎ 灯油 ● A 重油 ● ガス ● バイオマス
	◎ 主 要 熱 源 機 器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ◎ ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ◎ F F 暖房機 ● その他 ()
換 気 設 備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種	
	排 煙 設 備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
	自 動 制 御 設 備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
衛 生 設 備	◎ 給 水 設 備	給 水 方 式 ● 水道直結方式 ◎ 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水 源 ◎ 水道水 ● 井水
	● 排 水 設 備	排 水 方 式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
		汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
		雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
		雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
	浄 化 槽	処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併
		処 理 水 放 流 先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	● 給 湯 設 備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消 火 設 備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水	
	● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置	
	● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火	
● ガ ス 設 備	● 都市ガス (MJ / Nm ³) ● 液化石油ガス	

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
● 印の付いたものによる。
◎ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
● 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。
● 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。 ◎ 印と ※ 印の付いた場合は両方を適用する。
(3) 一般共通事項のうち (4、12、13、15、16、18、36) 項は、 ● 建 築 ◎ 電気設備 工事特記仕様書による。

一 般 共 通 事 項

一
般
共
通
事
項

①官公署その他への手続
2電気保安技術者

3工事安全計画書等
4発生材の分析及び処理

⑤機材等

⑥機材の品質・性能証明

⑦機材の承諾図
8図形等の表示
9電気容量及び機器表示

⑩技能士の適用

⑪施工図等
12完成写真等

特記事項

工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
引渡しを要するもの
※ 無し ● 有り ()
引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。
特別管理産業廃棄物
※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う
(● 廃石綿（配管用保温材） ● PCB使用機器 ●)
アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物）は関係法令に従い適切に処理を行う。
PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。
撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り
再生資源化を図るもの
※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)
本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
J I S等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2（3）の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
機械設備工事機材承諾図様式（令和4年版）によるほか、監督職員の指示による。
機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。
下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用する。
◎ 配管 (● 1級 ◎ 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級)
● 冷凍空調和機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)

《技能士名札参考図》

55mm

技能士

職 種 配管
作業名 建築配管作業
級 別 1級
氏 名 山〇夫
勤務先 〇〇工務店
自 宅 鳥取市
技能士番号 00-0-000-00-0000
発 行 〇〇〇〇〇〇〇〇 印

写真（30×40程度）

90mm

技能士の職種により色を変えることも可
技能士の種別
技能士の級の別
技能士本人の住所地
名札の発行元

主要事項（職種、作業名、級別、氏名、住所、技能士番号、発行元、本人写真）が記載してあればレイアウトは問わない。

提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記ものを提出する。

区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データの提出
工 事 写 真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要
完 成 写 真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要

一 般 共 通 事 項

13 完 成 図 等	14 他 工 事 と の 取 合	15 工 事 用 水 ・ 電 力 ・ そ の 他 16 表 示 板
------------	------------------	--------------------------------------

区 分	名 称	部 数
※ 完 成 図 原 図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完 成 図 2 つ 折 装 本	※ 完成図 ※ 完成図（縮小版） ● 施工図	※ 2 部 ● 部
※ 完 成 図 書 ※ A 4 版 市 販 ファイル ● A 4 版 黒 表 紙 製 本	● 完成図（縮小版） ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2 部 ● 部
※ 保 守 用 説 明 書 (A 4 版 ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2 部 ● 部
※ 保 証 書		1 部
※ 官 公 署 の 届 出 書 類		1 部
● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他工事との取り合い		建 築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● O A フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動開閉装置を付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		※	●	●
◎ 天井点検口		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。）

※ 工事表示板

● お願表示板

900	1,200
1,200	1,600
建 築 工 事 中 工事名 ○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○設計 監理者 ○○総合事務所環境建築局建築課 ○○○○設計 施工者 ○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○	御通行中の皆様へ 令和○年○月工事完成予定 マシ記号 51R6 5/11 御迷惑をおかけする （拡大カラーコピーを張り付けてもよい） 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 事業協力をお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくをお願いします。 施工者 ○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 TEL ○○-○○○○

記入要領

1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

17 足 場	18 工 事 用 仮 設 物	19 土 工 事	20 保 温 工 事
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。			
構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない (一般水槽)			
(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()			
(イ) 建設発土生土処分 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積			
● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●) ● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●) ● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム) ● 保温チューブ (厚さ@ 10t) ●			
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ10t) ● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@)) ● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●) ● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●) ● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール) ● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側) は保温 (グラスウール25mm厚) 以上 ● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●) 屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● S U S 鋼板 ●)			



一般共通事項

21鋼管類の防食処置

22絶縁継手

23防振継手

24伸縮管継手

25塗装

●ベトロラム系 ●フチルゴム系 ●熱収縮チューブ及びシート
●標準図（施工3） ●(1)絶縁フランジ ●(2)絶縁シート ●(3)絶縁スリーブ ●(4)絶縁ユニオン
※合成ゴム製（球形） ●ポリトラフルオロエチレン製 ●ペローズ形（ステンレス製）
※ペローズ形 ●スリーブ形
各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）
(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面
(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類
(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面
(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム・垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面
(ク)特殊な意匠の表面仕上げ処理をした面
(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管
●上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ 保温を行わない露出鋼管外面 ）
呼び径60S以下の継手は、SAS322を満たすものとする。
●ガス配管 ●冷水配管 ●冷却水配管
非破壊検査の適用（ ●放射線透過検査 ●浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ）
抜取率（ ●標準仕様書による ● % ）
●地中埋設機を明示する箇所に設ける。
●埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）
ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。
屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。
下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。
●温度 ●湿度 ●風量 ●騒音 ●水量 ●浄化槽放流水質
●風速 ●じんあい ●飲料水水质（ ●一般飲料水適否検査 ● ）
●その他水质等（ ●雑用水 ●空調用流体 ● ）
公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、何仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（ ）

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
探索方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査
実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）
グリーン購入は次のものとする。
●空調用機器（マフコ18馬力未満） ●衛生器具（ ）
●断熱材（ ） ●配管材（ ●再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）
●その他（ ）
対象工事
対象工事
設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。
（1）機器の据付け及び据付け
設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度	●特定の施設	●一般の施設			
設置場所	機器種別	●重要機器 ●一般機器	●重要機器 ●一般機器		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置
●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類（燃料小出槽を含む）
●（ ）
（2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

26ステンレス鋼管の接合方法

27溶接配管の検査

28埋設表示

29支持金物・固定金具

30総合試運転調整

31アスベスト含有建材の処理

1空気調和設備

2冷暖房設備

3換気設備

15吹出口・吸込口

16チャンパー等

17消音内貼り

18瞬間流量計及び流量測定口

19定風量・変風量ユニット

20温度計

21冷温水管の空気抜き

22空調機用トラップ

23銅板製煙道

24オイルサービスタンク

25地下オイルタンク

26油面制御装置

27フィルター等付属品

28パッケージ空調機の能力表示

29防振吊り及び支持金物

4排煙設備

5自動制御設備

1設計用温湿度条件

2冷却水管

3冷水・温水・冷温水管

4膨張・空気抜・補給水管

5蒸気給気管

6蒸気還水管

7油・油用通気管

8冷媒管

9空調用給水管

10空調用排水管

11弁類

12ファンコイルユニット

13ダンパー

14ダクト

15吹出口・吸込口

16チャンパー等

17消音内貼り

18瞬間流量計及び流量測定口

19定風量・変風量ユニット

20温度計

21冷温水管の空気抜き

22空調機用トラップ

23銅板製煙道

24オイルサービスタンク

25地下オイルタンク

26油面制御装置

27フィルター等付属品

28パッケージ空調機の能力表示

29防振吊り及び支持金物

4排煙設備

5自動制御設備

外気条件		室内（調整目標値）					
		一般		()		()	
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
(DB)		(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	%
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	%

※SGP（白） ●SGP－VA ●SGP－PA
※SGP（白） ●SGP－HVA ●ステンレス鋼管（SUS304）
●架構ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ●ポリプテン管（ファンコイル機器接続部に限る）
※SGP（白） ●ステンレス鋼管（SUS304）
※SGP（黒）
※STPG370-Sch40（黒） ●ステンレス鋼管（SUS304）
一般配管 ※SGP（黒） 地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管
※断熱材被覆鋼管
●ステンレス鋼管 ●SGP－VA ●
※SGP（白） ●VP ●カラーVP
※5K ●10K
※流量調整弁 ●定流量弁（ ●ダイヤフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。
(ア) 防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式
(イ) ヒストンダンパー ※遠隔復帰式 ●
※低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト
●長方形ダクト ●コーナーボルト工法（ ●共板工法〔動作用電圧は電圧降下2.5V以下 O. 7A以下とする。〕
（長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）
●アングルフランジ工法
●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
ボックス ※垂鉛鉄板製 ●グラスウール製
シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。
接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。
外面に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように配をつける。
吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。
内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。
吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。
形式はピトー管式（コック付）とする。 ●着脱式 ●固定式
下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●冷水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●ユニット形空気調和機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●メカニカル形 ●風速センサー形
機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付L形温度計
空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。
※手動 ●自動
自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））
機械室の手動式空気抜き配管の保溫は分岐から2mの範囲とする。
トラップ形式はフロートボール式（床直型） ※FRP製保溫型 ●FRP製 ●SUS製
材質及び厚さ ●SS400（※3.2mm ●4.5mm） ●SUS（※1.5mm ●2.0mm）
煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける
煤じん量測定口（80φ×2） ※取付ける ●取付けない
油面計はゲージ式（側注式）とする。
据付け方法 ●標準図（施工32）（二重設タンク・タンク室無し） ●標準図（施工33）（タンク室有り）
タンクの保護被覆 ※強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト
基礎杭 ※不要 ●要（※別途工事 ●本工事）
土留め工事 ●要 ●不要
タンクローリー用アース端子を設ける。
油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ●
●機器表特記による。
●空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。
インバーター機の表示された能力は、型式で選定する。
標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
※垂鉛鉄板製 ●銅板製（厚1.6mm）
形状 ●パネル形 ●スリト形 ●ダンパー形
取付け ●天井取付 ●壁取付
電気式（遠隔操作 ※不要 ●要）
建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。
●有り（構成機能は、図示による） ●無し
●要（ ●本工事 ●別途工事 ） ●不要
取付高さ ※1300mm ● mm
●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。
●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。

6衛生器具設備

7給水設備

8排水設備

9給湯設備

10消火設備

11ガス設備

12浄化槽設備

1衛生器具の参考型番

2小便器用節水装置

3自動水栓

4大便器洗浄弁

5温水洗浄便座

6器具と排水管接続

1量水器

2配管材料

3弁類

4水槽のマンホール

1配管材料

2弁類

4煙試験

1配管材料

2弁類

4屋内消火栓

5ガス系消火剤の種類

6ガス系消火の起動方式

1都市ガス設備

2配管材料

3ガスメータ

4バルク貯槽

5容器廻りの配管

6容器転倒防止

7ガス漏れ警報器

1処理種別及び方式

2型式

3処理能力

4放流水の水質

5排水方式

6埋戻し土

7土留め工事

8マンホールふた

9消毒薬

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

※小便器一体型 ●小便器分離型
●洗浄水量4リットル／回以下
※個別感知方式（ ●AC電源 ●自己発電 ●乾電池 ） ●手動式
電源供給方式 ●AC電源 ●自己発電 ●乾電池
操作方式 ●電気開閉式（ ●センサー式 ●タッチスイッチ式 ）
●手動式
洗浄用水加温方式 ●瞬間式 ●貯湯式
※標準図（施工64） ●標準図（施工65）

●親メーター ※借用 ●買取（※直読 ●遠隔表示）
●子メーター ※買取 ●借用（※直読 ●遠隔表示）
(ア)一般配管 ●SGP－VB ●SGP－PB ●SUS304 ●SUS316
●HIVP ●架構ポリエチレン管
(イ)土間下配管 ●SGP－VD ●SGP－PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316
(ウ)地中配管 ●SGP－VD ●SGP－PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316
●水道配用水用ポリエチレン管（75～100A） ●水道用ポリエチレン二層管（50A以下）
(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
(オ)ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）
(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手
※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
●5K（受水槽以降の配管に使用） ●10K（公営水道に直結する配管に使用）
●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水込込部に使用）
屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保溫形（二重蓋含む）とする。

(ア)屋内汚水管 ●VP ●RF－VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管
(イ)屋内雑排水管 ●VP ●RF－VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管
●耐火二層管
(ウ)ポンプ排水管 ●VP（水道用） ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）
(エ)通気管 ●VP ●RF－VP ●カラーVP ●排水用塩ビライニング鋼管
(オ)屋外排水管 ●VP ●RF－VP ●VU（地中） ●REP－VU（地中）
●RS－VU ●卵形管 ●コンクリート管
3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ●取付けない
※施工する ●施工しない
※行わなくてもよい ●図示の系統のみ行う

●SGP－HVA ●ステンレス鋼管 ●架構ポリエチレン管
●保温付被覆鋼管 ●鋼管
湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
※5K ●10K

(ア)一般配管 ●SGP（白） ●STPG
(イ)土間下配管 ●SGP－VS ●STPG－VS
(ウ)地中配管 ●SGP－VS ●STPG－VS
※10K ●16K
(ア)呼水タンク ※施工しない ●施工する
(イ)充水タンク ※施工しない ●施工する
(イ)配管の保溫は次による。（屋外露出箇所は種別a3・(ハ)・VIIによる）
●屋内溝水栓用（※施工しない ●施工する） ●スプリングラー用（※施工しない ●施工する）
●連結送水用（※施工しない ●施工する） ●連結散水用（※施工しない ●施工する）
●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓（ ●1号 ●2号）
●窒素 ●IG－541 ●IG－55 ●HFC－227ea ●HFC－23
※手動 ●自動手動切替式

都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
(ア)一般配管 ※SGP（白） ●合成樹脂被覆鋼管
(イ)土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管
(ウ)地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管
●親メーター ※借用 ●買取（取付け ※別途 ●本工事）
●子メーター ※買取 ●借用（取付け ※本工事 ●別途）
●撚型 ●模型 ●借用 ●買取
●標準図（施工73）の ●要領（a） ●要領（b） ●要領（c）
●標準図（施工74）の ●要領（a） ●要領（b）
●不要 ●要（※別途工事 ●本工事）

●小規模合併処理（ ●分離接触ばっ気方式 ●嫌気ろ床接触ばっ気方式 ●脱窒ろ床接触ばっ気方式）
●その他性能評価を受けた方式（ ）
●合併処理（ ●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転板接触方式）
●ユニット型 ●現場施工型
●処理対象人員 人 ●処理水量 m³/d
●流入BOD 200mg／L ●放流水質BOD 20mg／L以下
●T－N mg／L以下 ●T－P mg／L以下
※自然流下 ●ポンプ排水
●砂 ●根切土の中の良質土
●不要 ●要（図示による）
※製造者標準仕様（ロック式） ●MHA型（ボルト式）
3ヶ月相当分を納入する。

鳥取県
令和6年度
J240146
西部環境建築

有限会社 亀山設計

鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05－1356号

CHECK
DRAWING

縮尺
A2: --

設計年月日
R7.02

工事名称
県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備）

図面名称
機械設備工事特記仕様書（2）

図面番号
M-2/7
NO

特記事項				
冷暖房機器表				
※表中 $\diagup$ は、撤去部を示す。 ※既設機器能力は現場にて再確認し、機器表と異なる場合は、監督員へ報告すること。				
記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	台 数	備 考
PAC-1	空冷ヒートポンプ冷暖房機	形式 天吊形 160型	(1)	4階選択7
(既 存)		冷房能力 16.0kW (定格14.0kW)		室外機：PUZ-RP160HA(三菱電機)
		冷房能力 18.0kW (定格16.0kW)		室内機：PC-RP80GA(三菱電機)
		圧縮機 2.9kW (3φ200V)		参考本体寸法：950W×330D×1350H(外)
		付属品 71付ドレコ、室外機用銅製架台、他付属品共		参考重量：113kg(外)、34kg(内)
				冷媒：R410A 5.5kg
PAC-2	空冷ヒートポンプ冷暖房機	形式 天吊形 140型	(2)	2階コンピュータ×2
(既 存)		冷房能力 14.0kW (定格12.5kW)		室外機：FDCVP1403H(三菱重工)
		暖房能力 16.0kW (定格14.0kW)		室内機：FDEVXP1403B(三菱重工)
		圧縮機 2.4kW (3φ200V)		参考本体寸法：970W×370D×1300H(外)
		付属品 71付ドレコ、室外機用銅製架台、他付属品共		参考重量：105kg(外)、49kg(内)
				冷媒：R410A 4.5kg
FF-1	FF暖房機	形式 集中制御特別仕様、白灯油	1	2階コンピュータ×1
(撤 去)		暖房能力 13,800kcal/h		品番：FF-18G6(F)(ヤマト)
		対流風量 1,780m3/h		参考本体寸法：800W×455D×700H
		電動機 1φ100V		参考重量：47kg
		付属品 給排気筒、耐震自動消火装置、他付属品共		
FF-2	FF暖房機	形式 集中制御特別仕様、白灯油	2	3階視聴覚準備室×1、4階L.L準備室×1
(撤 去)		暖房能力 6,370kcal/h		品番：FF-7000T6(F)(ヤマト)
		対流風量 840m3/h		参考本体寸法：800×349×594H
		電動機 1φ100V		参考重量：40kg
		付属品 給排気筒、耐震自動消火装置、他付属品共		
TOS-1	戸別タンク	容量 30L	(4)	1階中央男子便所×1、2階中央男子便所×1
(既 存)		付属品 給排水管、他付属品共		3階中央男子便所×1、4階中央男子便所×1
				参考本体寸法：200×400×400H

特記事項				
換気機器表				
※表中 $\diagup$ は、撤去部を示す。 ※既設機器能力は現場にて再確認し、機器表と異なる場合は、監督員へ報告すること。				
記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	台 数	備 考
V-1	天井埋込換気扇	形式 低騒音形 (150φ)	1	3階視聴覚準備室
(撤 去)		電動機 1φ100V		品番：V-18ZX2(三菱電機)
		付属品 アルミ製丸形フード、他付属品共		参考重量：6.5kg
V-2	天井埋込換気扇	形式 低騒音形 (150φ)	1	4階L.L準備室
(撤 去)		電動機 1φ100V		品番：V-23ZX(三菱電機)
		付属品 アルミ製丸形フード、他付属品共		参考重量：11.2kg

特記事項				
衛生器具表				
※表中 $\diagup$ は、撤去器具を示す。 ※既設器具は現場にて再確認し、器具表と異なる場合は、監督員へ報告すること。				
名 称	参考品番(TOTO)	仕 様 ・ 付 属 品	設置室名	数量
洗面器	L230	T205(立水栓)、T8P(排水口)、T4A、T8126AS、T8RAY、T8CAY	3階視聴覚準備室×1	1
化粧鏡	TS119ASAY5	450×850	3階視聴覚準備室×1	1

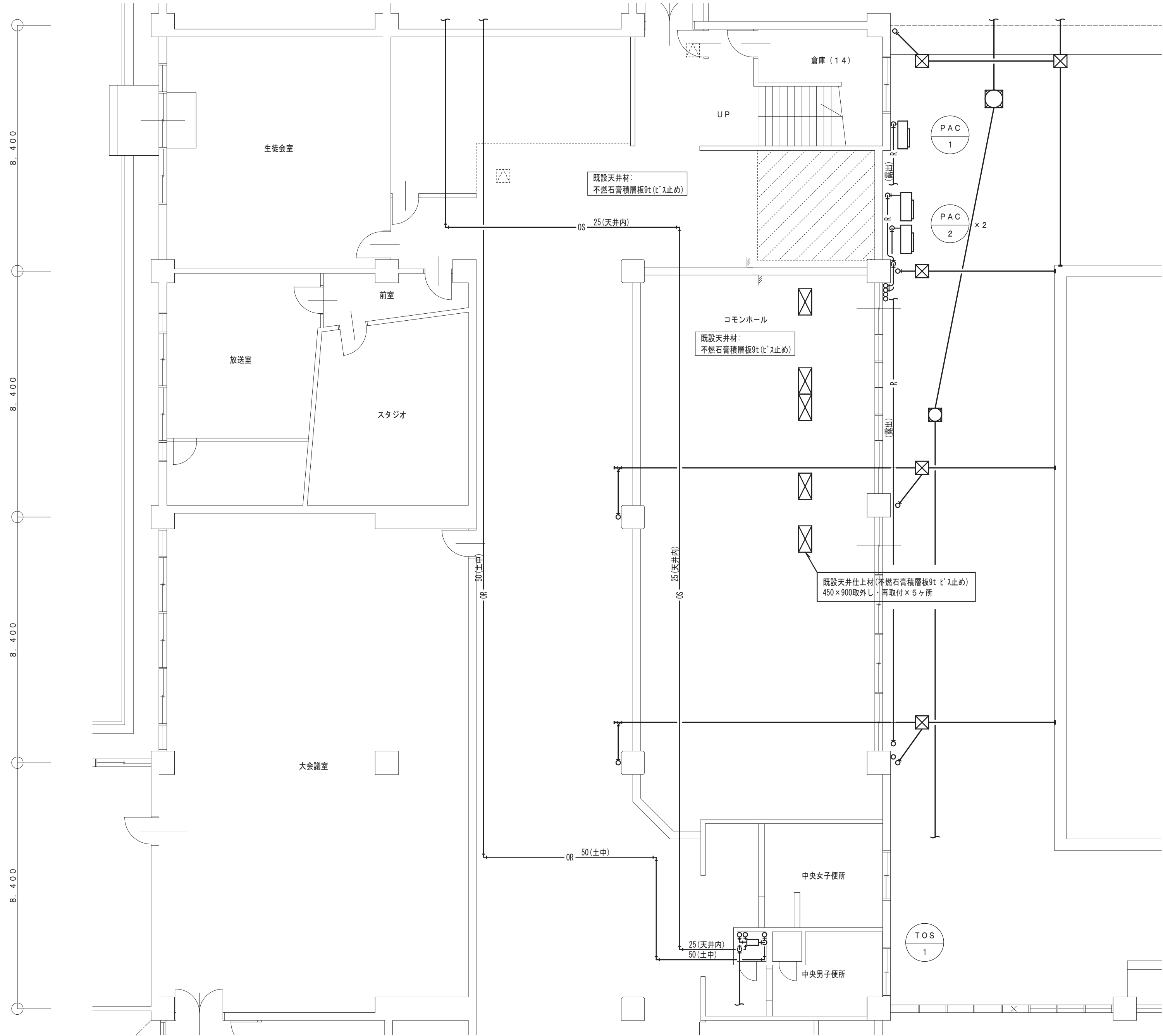
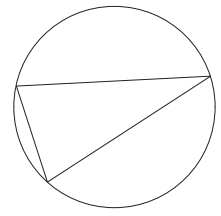
既設管 凡例 (※図中特記を優先する。)		
記 号	名 称	備 考
— OS・OR —	油管(往・還)	SGP(黒)※溶接接合
— R —	冷媒管	冷媒用被覆銅管
— D —	ドレン管	VP
— 給 —	給水管	一般：SGP-VB CB壁内：SGP-VD
— 汚 —	汚水・雑排水・雨水管	VP

※管種は現場にて再調査のこと。

特記事項	
※図中 $\diagup$ は、撤去部を示す。 但し、壁内・RC内等の撤去不可能な配管は、そのままとする。	
※図中 $\square$ は、別途建築工事による改修範囲を示す。	
※図中 $\boxtimes$ は、床・壁のはつり補修部又は、梁貫通部モルタルはつり補修部を示す。(仕上げ補修は、別途建築工事とする。)	
※図中 $\square$ は、床スラブ清はつり部を示す。(床モルタル補修は、本工事とする。)	
※図中 $\triangle$ は、新設天井点検口(別途建築工事)を示す。(図中「※600」は、600×600を示す。)	
※図中 $\square$ は、既設天井点検口(450×450)を示す。	
※図中 $\square$ 印は、既設床点検口(600×600)を示す。	
※図中 $\boxtimes$ は、既設天井材取外し・再取付(450×900程度)箇所を示す。	
※図中 $\text{---} \text{---}$ の内の必要箇所には、プラグ止め又はキャップ止めを行うこと。	
※天井・壁・床の改修は全て別途建築工事とする。	
※既設面台はつり撤去は、別途建築工事とする。	
※施工に先立ち、既設各配管・ダクト等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工すること。	
※FF暖房機撤去後、事務室のFF集中制御盤にて、必要な設定変更作業を行うこと。	
※機器等の撤去後、床・壁面等にボルト・ビス穴が残る場合は、コーキングにて穴埋め補修を行うこと。	
※機器等の撤去後、床・壁面等にボルト・ビスが残る場合は、ボルト・ビス切断の上、必要に応じて錆止め処理又はコーキング処理を行うこと。	
※給水管のプラグ止め箇所は、できる限り停滞水が少なくなる様に注意して施工すること。	
※撤去機器・配管・ダクト等は、法令を遵守し適切に撤出・処分を行うこと。	
※施工に必要な内外部の足場(脚立足場程度を除く)は、原則として別途建築工事の足場を利用する。	
※既存校舎を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設設備を事前確認して施工すること。	
また、給水の断水、排水等の遮断ができる期間を学校側と協議し、工事時期を調整して施工すること。	

アスベストについて	
※今回工事の対象となる場所の外壁仕上材には、アスベストが含有されている可能性があるため、現場にてアスベスト含有の分析(1検体)を電気工事で行い、監督員へ報告後に法令を遵守し適切に撤去を行うこととする。(アスベストは含有されていない物として撤去を見込んでいる。)	
※その他の材料で、アスベスト含有の可能性がある物を改修する場合は、監督員に報告すること。	

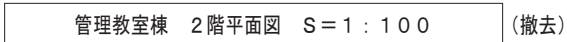
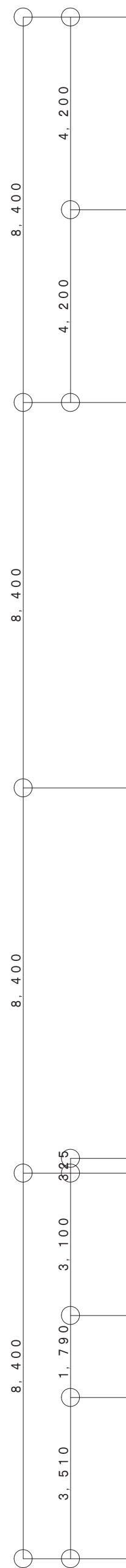




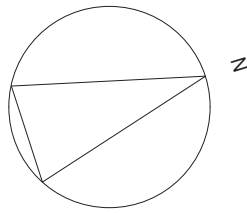
管理教室棟 1階平面図 S=1:100 (撤去)



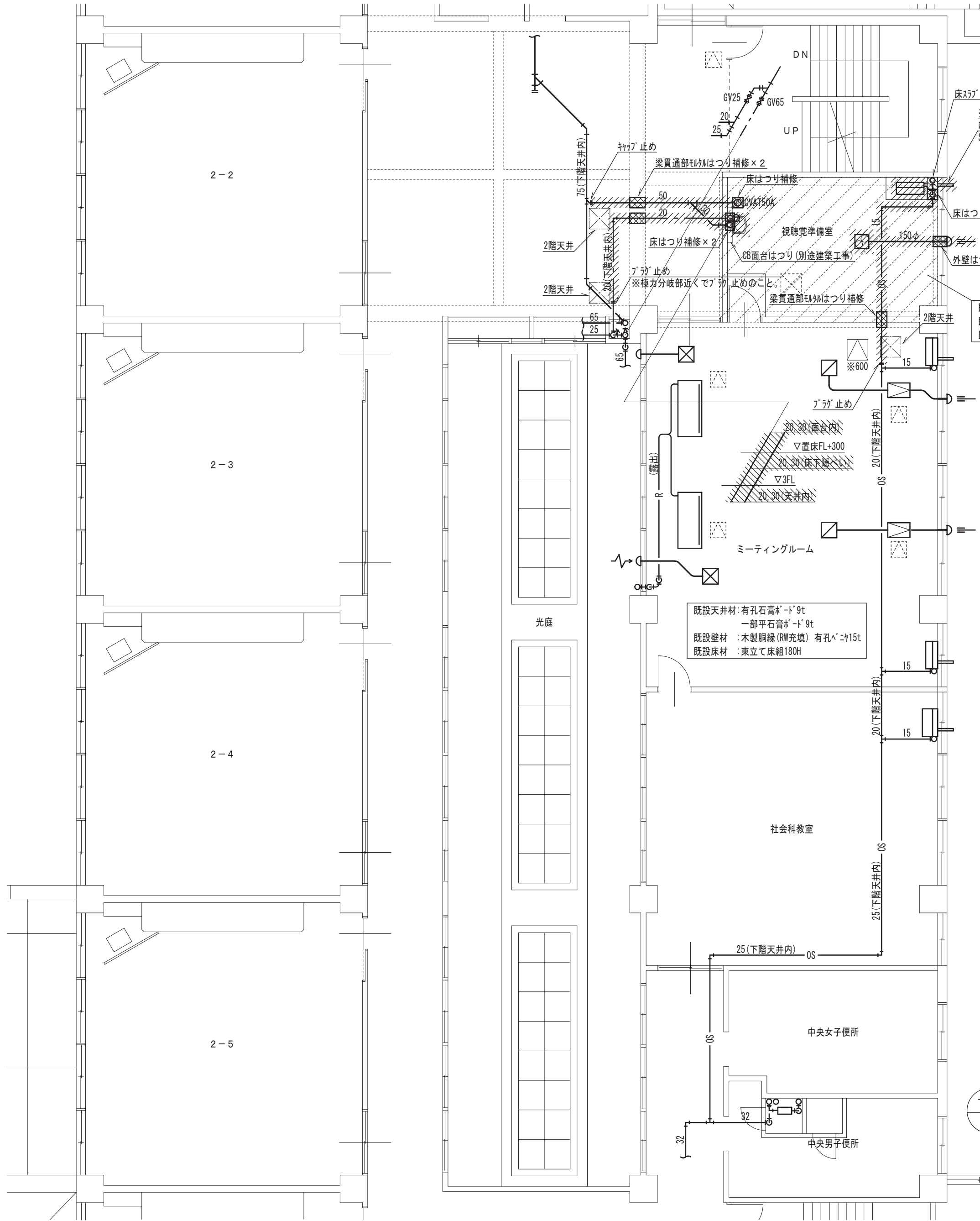
 Hamayama 有限会社 亀 山 設 計 鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 0 5 - 1 3 5 6 号		CHECK	DRAWING		縮 尺	A2: 1 : 1 0 0	工 事 名 称	県 立 米 子 西 高 等 学 校 管 理 教 室 棟 エ レ ベ ー タ ー 整 備 工 事 (電 気 設 備)	図 面 番 号 M - ⁴/₇ NO
		亀 山	木 村		設 計 年 月 日	R 7 . 0 2	図 面 名 称	冷 暖 房 設 備 管 理 教 室 棟 1 階 平 面 図 (撤 去)	



 有限会社 亀 山 設 計 鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 0 5 - 1 3 5 6 号	CHECK	DRAWING	縮尺	工事名称	図面番号 M - $\frac{5}{7}$ NO
			A2: 1 : 1 0 0	県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備）	
			設計年月日	図面名称	
			R 7 . 0 2	冷暖房設備 管理教室棟 2階平面図（撤去）	



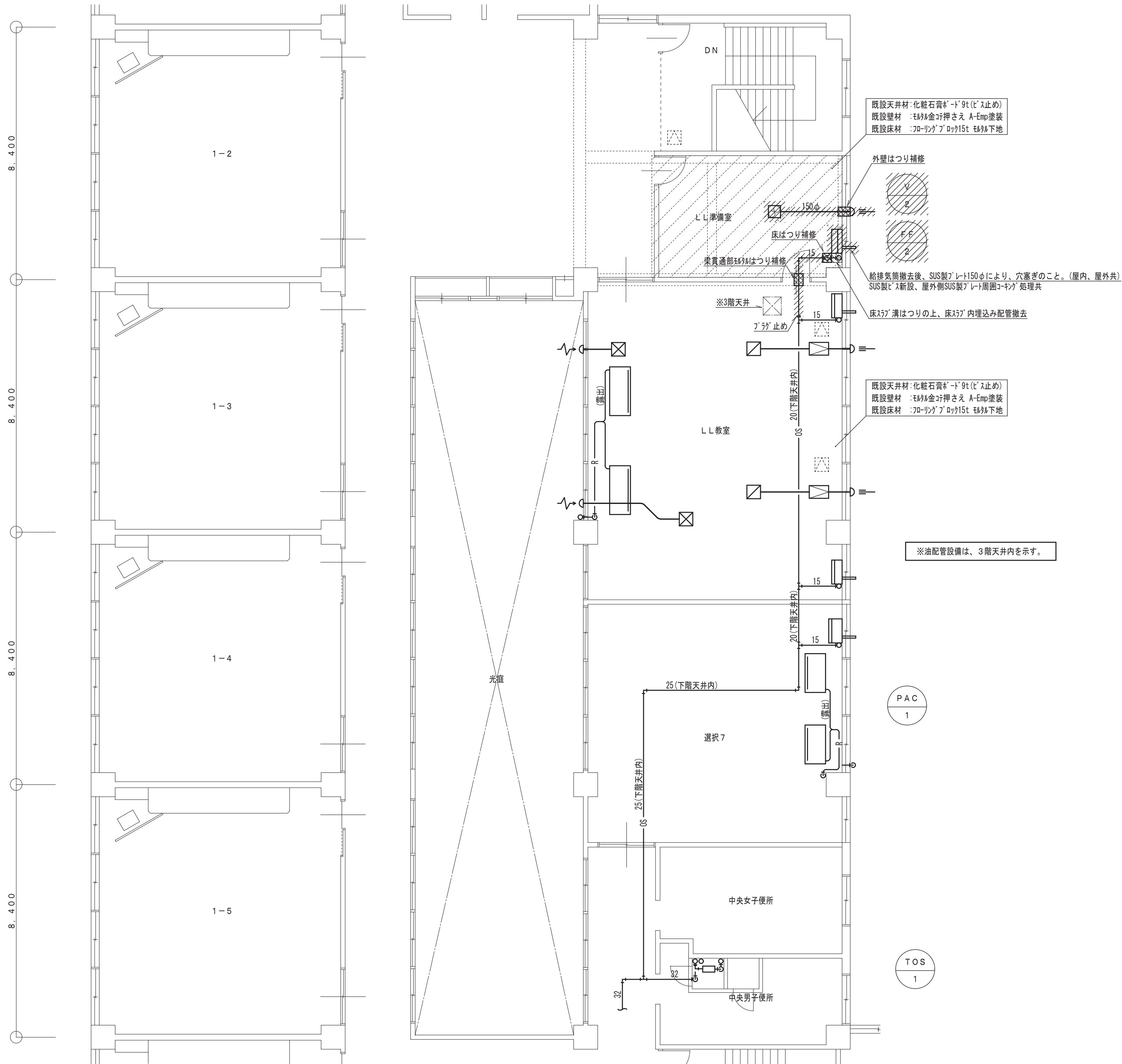
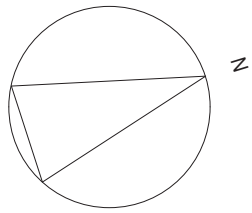
8.400
8.400
8.400
8.400
8.400



管理教室棟 3階平面図 S=1:100 (撤去)



		有限会社 亀山設計		CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 冷暖房・換気・衛生設備 管理教室棟 3階平面図（撤去）	図面番号 M-6/7 NO
鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号								



管理教室棟 4階平面図 S=1:100 (撤去)



 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号		CHECK 	DRAWING 	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R7.02	工事名称 県立米子西高等学校管理教室棟エレベーター整備工事（電気設備） 図面名称 冷暖房・換気設備 管理教室棟 4階平面図（撤去）	図面番号 M-7/7 NO
--	--	--	--	-----------------------------------	--	---------------------